

人が輝きまちがときめく
ふれあい交流都市

広報

ほいべつ

2005.12

No. 662

特集 登別市財政公表
三位一体の改革と
まちの財政

【写真】登別漁港（11月5日土）

もくじ

- 三位一体の改革とまちの財政…………… 2 ●日本工学院北海道専門学校紹介…………… 12 ●東奔西走…………… 14
●市民レポート…16 ●子育て伝言板・仲間たち…18 ●情報あらかると…19 ●となりまちホットライン…30

特集

登別市財政公表

三位一体の改革と まちの財政

平成16年度から本格的に実施された三位一体の改革は、国の関与を縮小し、地方の自主性・自立性を高め地方分権を推進するという理念に沿って進められるべきです。

今月号では、地方交付税の削減や国庫補助負担金の廃止に伴う税源移譲の先送りなど、国とまちの財政の関わりについてお知らせします。

国と地方の財政状況

国と地方の財政は、密接に関連しています。そのため、国の財政を無視して地方の財政を語ることはできません。そこでまず、わたしたちのまちの財政について説明する前に、国の財政状況についてお話しします。

Q 財政が国と地方も『戦後最悪』と言われるゆえんは？

A 財政状況は、国も地方も火の車

高度経済成長期をピークとする『右肩上がりの経済』も、バブル経済の崩壊とともに終えんを迎え、税収などの歳入の減少に合わせ予算総額も小さくしなければなりません。しかし、急激な情報化社会の進展や経済構造の変化、少子・高齢化の進行、地球環境問題の深刻化など新たな課題への対応や長く続いた景気低迷の後遺症もあり、現在も思うように小さくできないまま、国の借金（国債）は膨らみ続けています。財政の借金体質は国ばかりではありません。国と地方の借金を合わせると、平成16年度末で約740兆円に達し、平成17年度末には約774兆円まで膨らむ見込みです。

まさに今、国の財政は、戦後最悪の危機的な状況に陥っていると言われるゆえんです。

これまで国は、主に景気・雇用対策に重点を置いてきましたが、ようやく企業部門の改善や個人消費の持ち直しなど、日本の経済が回復に向かい始めました。

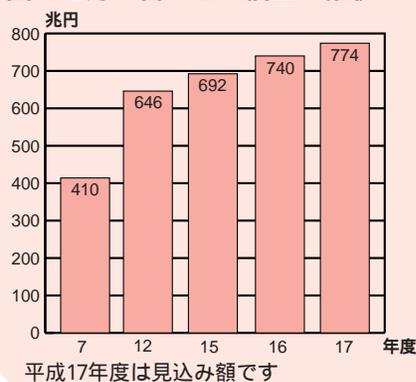
今後は、歳出予算を小さくするため、年金・医療制度改革や税制改革など財政再建への取り組みを行わなければなりません。

借金は膨らんでいる

国と地方の借金は、平成17年度末までの1年間で約34兆円増加する見込みです。

これを日と秒で換算すると、1日当たり約931億5,068万円、1秒当たり約108万円ずつ、借金が膨らみ続けていることになります。

国と地方を合わせた借金の推移



Q 三位一体の改革ってなに？

A 地方分権をさらに進めるための国の方針が『三位一体の改革』です

国と地方の財政の関わりを分かりやすく説明するため、これまでの『地方分権』の流れを確かめてみましょう。

戦後のまちづくりは、強力な中央集権型で進められました。いわば、国と地方が『上下・主従』の関係にあり、地方の個性や独自性のない同じようなまちづくりを重視する方法が進められました。しかし、この仕組みでは、高度情報化社会や少子・高齢化社会、個性豊かな地域社会の形成など、現在のライフスタイルの多様化などに対応することができなくなってきました。

そこで、国が財源の多くを握っていたのでは、地方の自立を望むことはできないため、平成12年に地方の自主性と自立性を高め、国と地方の関係を『対等・協力』とする『地方分権一括法』が施行されました。

地方分権時代を迎えるには『地方でできることは地方に委ねる』との原則の下、歳入・歳出の両面で地方の裁量度を高め、地方の真の自立を図ることが重要になります。

地方分権を進めるための『税財源面での改革』実施の手段が、『三位一体の改革』なのです。

Q 『三位一体の改革』で、何が変わるの？

A 地方分権推進のための改革が、それとも国の財政再建策か

地方分権型社会の実現に向けて、税財源のあり方を見直すことで、地方の実情に合わせて、自らの創意工夫で予算を執行できるように、地方の自立を促すことが期待できます。

また、補助金の採択の影響を受けていた事業の実施についても、これからは住民の意思が反映しやすくなり、参画の機会も増えるなど、住民参加のまちづくりが進むことも期待できます。

ところが、平成16年度を初年度とする『三位一体の改革』が進められると地方財政にとって大変厳しい内容となることが明らかになってきました。

地方交付税の大幅な削減や施設整備関係の国庫補助負担金の取り扱いなど、国庫補助負担金の廃止に伴う本格的な税源移譲が先送りされ、国の財政再建が優先されて、地方公共団体の平成16年度予算編成に大きな



支障を及ぼすなど地方財政に大きな衝撃を与えることとなりました。全国各地の地方公共団体から、本来の地方分権推進のための『三位一体の改革』ではなく、『国の財政赤字のつけ直し』『単なる地方への負担転嫁』ではないかとの声が上がりました。

今年7月には、再度首相の要請に基づき地方六団体が取りまとめた国庫補助負担金の改革案が政府に提出されましたが、各省庁と地方との意見が対立している部分が数多く残されるなど、依然として先行き不透明な状況です。3兆円規模の税源の移譲に結びつく改革、地方の裁量度を高め自主性を大幅に拡大する改革の実施に向け、今後もその動向には十分に注視していく必要があります。

『三位一体の改革ってなんだろう』

三位一体の改革とは、地方が決めるべきことは地方が自分で決めるという『地方自治の本来の姿』の実現に向けた政府の方針のことです。

平成18年度までに行われる三位一体の改革

- 国庫補助負担金の改革...地方の自主性を阻害する国庫補助負担金を縮減する。
(平成17・18年度の国庫補助負担金を3兆円程度縮減(廃止))

- 税源配分(税源移譲を含む)の見直し...地方財源の充実を図るため、税源を国から地方へ移譲する。
(平成16年度からの3年間で約3兆円の税源移譲を目指す)
- 地方交付税の改革...税源移譲や国庫補助負担金の廃止に伴う地方の財政力格差是正のため、バランスのとれた地方交付税の見直しを行う。
(平成16年度からの3年間で交付税算定方法の簡素化・透明化に取り組む(第1期))

地方公共団体の財政

地方公共団体の会計には、行政運営の基本的な経費を計上する一般会計と、国民健康保険や公共下水道事業のように特定の収入をもって特定の支出に充てた経費を計上する特別会計がありますが、この特集では全国統一の基準により各地方公共団体の比較などに用いられる一般行政部門の普通会計により説明します。

また、国と地方の関係についてお話ししてきましたが、この関係がいかに登別市の財政に大きな影響を及ぼすかを心にとめて、読み進めていただきたいと思います。

市の歳入（収入）

それでは、登別市の財政について、歳入から説明しましょう。

歳入は、市税を根幹とし、地方財源保障制度としての地方交付税、特定の事業に対し国・道から補助金などとして交付される国・道支出金、長期の借入金である市債などから構成されています【表1】。

市税

市税には、市民税や固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、入湯税などがあります。全国的には地方公共

団体の歳入総額の約3分の1を占めるといわれています。しかし、登別市の場合には平成15年度で20・6%、平成16年度で23・4%にとどまっています。

市税の収入は、景気に大きく左右され、近年は全国的に減少傾向にあり、登別市もこの5年間で約4億5千万円も減少しました【表2】。

また、平成16年度の市税収納率は、87・6%で、全道34市中26位となっており、収入未済金額は6億円を超えているため、市は収納対策推進本部を設置し、収納率の向上に努めています。

地方交付税

地方交付税は、全国の地方公共団体の財源の不均衡を調整して、どの地域の住民にも合理的で妥当な水準の行政サービスが提供できるように財源を保障する制度で、地方固有の財源です。

本来、地方自治の観点からは、行政活動に必要な財源は、それぞれの地方公共団体がその住民から徴収した地方税で賄うのが理想ですが、地域的なアンバランスから、多くの地方公共団体は必要な税収を確保することができないため、本来地方の税収入とすべき財源を国が代わって徴収し、財政力の弱い地方公共団体に地方交付税として再配分しています。

歳入決算額の推移【表1】

区分	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
市 税	55億2千万円 (22.5%)	52億5千万円 (23.7%)	53億2千万円 (24.3%)	53億2千万円 (23.7%)	50億9千万円 (20.6%)	50億7千万円 (23.4%)
地方交付税	57億4千万円 (23.3%)	59億円 (22.6%)	55億9千万円 (25.5%)	55億6千万円 (24.7%)	51億9千万円 (21.0%)	51億8千万円 (23.9%)
国・道支出金	54億4千万円 (22.1%)	40億3千万円 (18.2%)	35億円 (16.0%)	48億7千万円 (21.7%)	48億4千万円 (19.5%)	48億5千万円 (22.4%)
市 債	37億2千万円 (15.1%)	21億9千万円 (9.9%)	26億1千万円 (11.9%)	23億1千万円 (10.3%)	51億8千万円 (20.9%)	20億7千万円 (9.5%)
そ の 他	41億8千万円 (17.0%)	48億円 (21.6%)	49億円 (22.3%)	44億円 (19.6%)	44億6千万円 (18.0%)	45億円 (20.8%)
合 計	246億円 (100%)	221億7千万円 (100%)	219億2千万円 (100%)	224億6千万円 (100%)	247億6千万円 (100%)	216億7千万円 (100%)

その他には、地方譲与税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入などがあります。
()は、構成比です。

市税決算額の推移【表2】

区分	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
個人市民税	16億3千万円	15億6千万円	15億1千万円	14億8千万円	14億2千万円	13億5千万円
法人市民税	3億4千万円	3億5千万円	2億9千万円	3億2千万円	3億円	3億1千万円
固定資産税	23億7千万円	22億1千万円	23億5千万円	23億6千万円	22億3千万円	22億9千万円
市たばこ税	4億3千万円	4億3千万円	4億2千万円	4億1千万円	4億1千万円	4億1千万円
入湯税	2億4千万円	2億2千万円	2億3千万円	2億3千万円	2億3千万円	2億1千万円
そ の 他	5億1千万円	4億8千万円	5億2千万円	5億2千万円	5億円	5億円
合 計	55億2千万円	52億5千万円	53億2千万円	53億2千万円	50億9千万円	50億7千万円

その他には、軽自動車税、特別土地保有税、都市計画税があります。

登別市の歳入総額に占める割合は、平成15年度で21・0%、平成16年度で23・9%となっています。

三位一体の改革による地方交付税の改革は、先行き不透明な状況であり、税収の少ない登別市にとっては計画的財政運営が困難な状況にあります。【表3】

市債

市は、市民プールや葬斎場などを建設しましたが、これには多額の費用がかかりました。家計と同じで大きな施設を造る場合、全額をその年の税金だけで賄うことはできません。また、これらの施設は、永く利用されるので、現在の市民だけでなく将来利用するであろう市民も負担するということの意味でも、市債(市の借金)を活用する必要があります。

【表4】は、市債の発行額を表したものです。クリンクルセンターを建設した平成11年度と、市民プール『らくあ』や葬斎場を建設した平成15年度の市債発行額が大きく膨らんでいます。

市の歳出(支出)

次に、歳出について説明しましょう。

【6ページ表5】は、お金がどのような性質の経費に使われたのかを示し

ています。

人件費、扶助費、公債費の3つは、義務的経費と呼ばれ、人件費は職員の給与など決まって支出し、扶助費は生活保護費など法令で支出が義務付けられています。そして公債費は市の借金の返済に充てられ任意に削減できない経費です。

この義務的経費の割合が大きくなるほど、それだけ財政は窮屈になります。

人件費

人件費は、職員数の減少などにより、縮減が進んでいます【6ページ表6】。

職員数は、平成17年度が513人で、5年間で66人減りました。

しかし、平成19年度からは、『団塊の世代』といわれる年齢層の職員が退職期を迎えるため、これによる退職手当の増加が見込まれます。

また、『7ページグラフ1』のラスパレス指数の推移をご覧ください。

ラスパレス指数とは、国家公務員の給与水準を100としたときの地方公務員の給与水準を示したものです。全国的に地方公務員の給与水準は低下傾向にあります。

登別市は、平成16年度94・1まで低下し、全道34市中27位と低い水準となっており、今後さらに低くなる見込みです。

地方交付税の推移【表3】

区分	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
普通交付税	51億3千万円 (89.4%)	52億6千万円 (89.2%)	49億8千万円 (85.0%)	49億5千万円 (80.1%)	46億3千万円 (73.3%)	46億7千万円 (78.5%)
特別交付税	6億1千万円 (10.6%)	6億4千万円 (10.8%)	6億1千万円 (10.4%)	6億1千万円 (9.9%)	5億6千万円 (8.8%)	5億1千万円 (8.6%)
交付税合計	57億4千万円 (100%)	59億円 (100%)	55億9千万円 (95.4%)	55億6千万円 (90.0%)	51億9千万円 (82.1%)	51億8千万円 (87.1%)
臨時財政対策債			2億7千万円 (4.6%)	6億2千万円 (10.0%)	11億3千万円 (17.9%)	7億7千万円 (12.9%)
総合計	57億4千万円 (100%)	59億円 (100%)	58億6千万円 (100%)	61億8千万円 (100%)	63億2千万円 (100%)	59億5千万円 (100%)

()内は構成比です。

臨時財政対策債は、平成13年度から創設されました。

市債発行額の推移【表4】

区分	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
臨時財政対策債			2億7千万円	6億2千万円	11億3千万円	7億7千万円
道路関係	10億4千万円	10億円	7億6千万円	5億9千万円	6億5千万円	5億円
教育関係	1億6千万円	4億1千万円	5億1千万円	7千万円	15億8千万円	4億3千万円
一般廃棄物処理施設	19億4千万円	0円	0円	1億4千万円	5億1千万円	0円
その他	5億8千万円	7億8千万円	10億7千万円	8億9千万円	13億1千万円	3億7千万円
合計	37億2千万円	21億9千万円	26億1千万円	23億1千万円	51億8千万円	20億7千万円

扶助費

【グラフ2】のとおり、生活保護費が大きな割合を占めています。また、児童福祉費の扶助費が急激に増えていますが、これは母子家庭などに支給される児童扶養手当が、平成14年度の途中から市の業務に移管されたためです。

扶助費の多くは、国庫補助負担金という特定財源がありますが、例えば平成16年度の生活保護費のうち、特定財源を除いた3億6千万円は一般財源で負担しなければなりません。扶助費は、多くが法令で義務付けられており、財政が苦しいからと言って、削減することはできません。

公債費

公債費は、市民プールなどの建設事業の財源として借り入れた市債などの元利償還金です。地方交付税措置のある『良質な市債』を借りていく工夫が必要です【グラフ3】。

平成19年度からは、市民プールと葬斎場の建設にかかった市債の元金償還が始まるため、公債費が増えることとなります。

市債残高

【グラフ4】は、市債の残高の推移

を表したものです。年々増加傾向にあります。皆さんのお宅の家計と同じように、できるだけ借金を増やさないことが大切です。

基金の状況

基金は、市の貯金に当たります。市にはいろいろな貯金があります。が、財政調整基金と減債基金が使用に制限のない貯金です。また、備荒資金組合納付金も基金と同様の性格をもっています【グラフ5】。

平成17年度当初予算では、厳しい財政状況からやむなく財政調整基金5億4千万円を取り崩して予算を編成しました。しかし、財政調整基金がなくなると、もしものときの対応ができなくなりますので、平成17年度の財政運営のなかで何とか取り崩し額を少なくするよう努めています。

職員数の推移【表6】

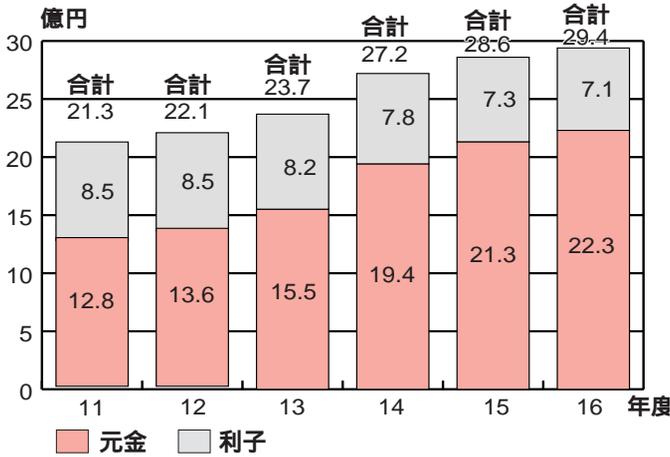
年 度	12年度	13年度	14年度
職 員 数	579人	566人	553人
年 度	15年度	16年度	17年度
職 員 数	548人	531人	513人

各年度4月1日現在、特別職・教育長を除く。

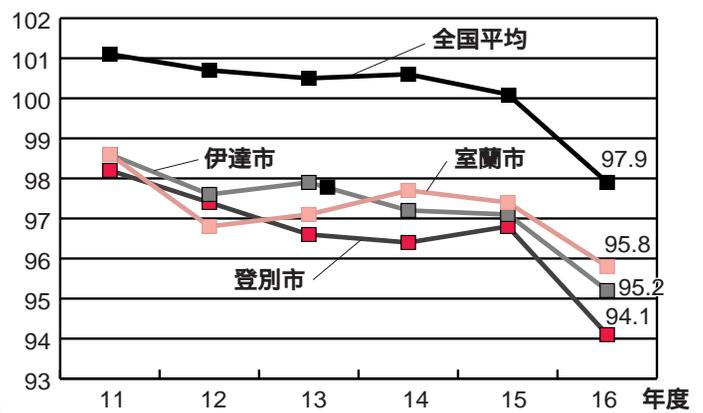
歳出決算額（性質別）の推移【表5】

区 分	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
人 件 費	49億円 (20.3%)	50億8千万円 (23.7%)	49億9千万円 (23.5%)	47億円 (21.7%)	46億円 (19.0%)	44億6千万円 (21.1%)
扶 助 費	30億5千万円 (12.7%)	27億8千万円 (13.0%)	29億3千万円 (13.8%)	30億3千万円 (14.0%)	34億1千万円 (14.0%)	36億円 (17.1%)
公 債 費	21億3千万円 (8.8%)	22億1千万円 (10.3%)	23億7千万円 (11.2%)	27億2千万円 (12.6%)	28億6千万円 (11.8%)	29億4千万円 (13.9%)
普通建設事業費 (災害復旧事業費を含む)	71億9千万円 (29.9%)	47億5千万円 (22.1%)	37億5千万円 (17.7%)	43億2千万円 (20.0%)	62億5千万円 (25.7%)	33億3千万円 (15.8%)
物件費・維持補修費	27億6千万円 (11.5%)	31億円 (14.5%)	31億円 (14.6%)	31億9千万円 (14.7%)	31億4千万円 (12.9%)	31億4千万円 (14.9%)
補 助 費 等	7億3千万円 (3.0%)	6億1千万円 (2.8%)	7億7千万円 (3.6%)	5億4千万円 (2.5%)	7億7千万円 (3.2%)	7億1千万円 (3.4%)
積立金・貸付金等	17億2千万円 (7.1%)	12億1千万円 (5.6%)	13億7千万円 (6.5%)	11億9千万円 (5.5%)	11億5千万円 (4.7%)	8億3千万円 (3.9%)
繰 出 金	16億1千万円 (6.7%)	17億1千万円 (8.0%)	19億3千万円 (9.1%)	19億4千万円 (9.0%)	21億円 (8.7%)	20億9千万円 (9.9%)
合 計	240億9千万円 (100%)	214億5千万円 (100%)	212億1千万円 (100%)	216億3千万円 (100%)	242億8千万円 (100%)	211億円 (100%)

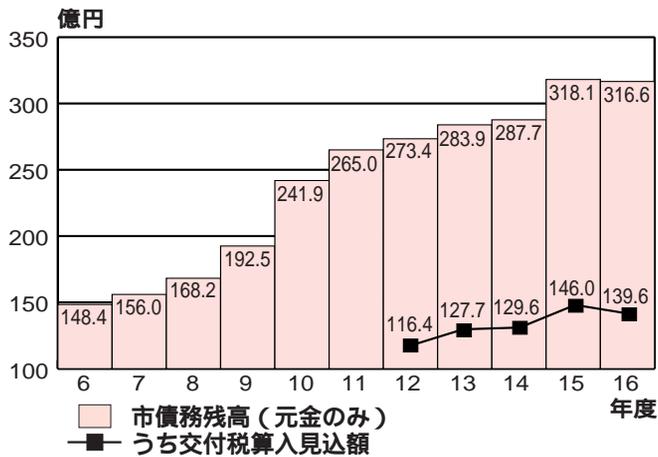
公債費の推移【グラフ3】



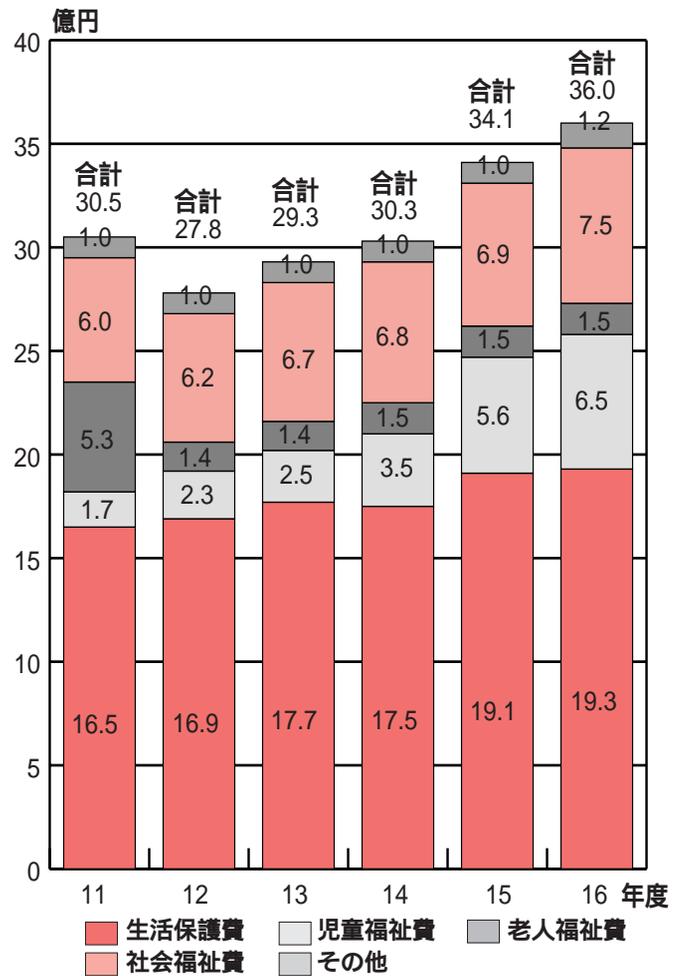
ラスパイレス指数の推移【グラフ1】



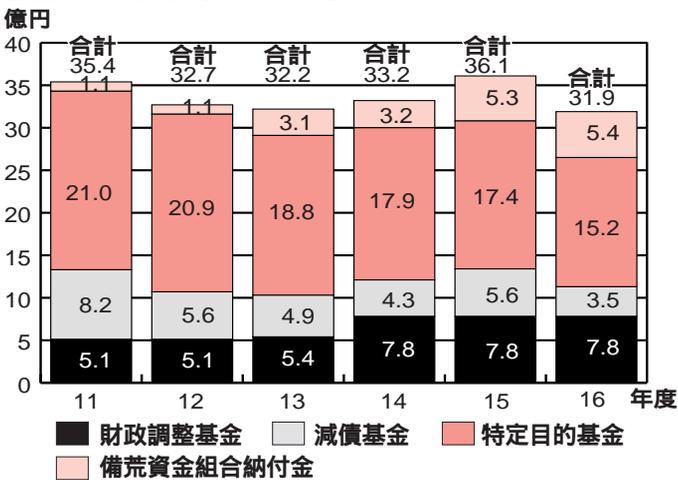
市債残高の推移【グラフ4】



扶助費の推移【グラフ2】



基金残高の推移【グラフ5】



財政用語解説

・臨時財政対策債：地方財政の赤字補てんのため、各地方公共団体の判断で借り入れる地方債。その元利償還金は、後年度普通交付税に算入されて国から市に交付されることになっています。

・人件費：職員の給料や手当、議員や各種委員の報酬などをいいます。

・扶助費：生活保護法や児童福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法などの法令に基づいて支出する経費です。

・財政調整基金：地方公共団体において、年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てられた基金です。

・減債基金：公債費の償還を計画的に行うための資金を積み立てる目的で設けられている基金です。

・特定目的基金：特定の目的のために積み立てられている基金で、おもいやり基金、観光開発基金、新図書館建設基金、退職手当積立金などがあります。

・備荒資金組納付金：市町村で構成される組合で、各市町村は、災害など緊急の財政支出に備えるために、一定額を積み立てています。災害時に備えるため納付する普通納付金と用途が自由な超過納付金があります。

平成17年度各会計予算執行状況（平成17年9月30日現在）

会計名	当初予算額	補正額	現行予算額	歳入		歳出		
				収入済額	収入率(%)	支出済額	執行率(%)	
一般会計	196億5,200万円	1億2,451万円	197億7,651万円	91億6,385万円	46.3%	76億2,350万円	38.5%	
特別会計	国民健康保険		59億2,310万円	22億2,504万円	37.6%	23億8,204万円	40.2%	
	学校給食事業		3億4,130万円	3億4,130万円	6,843万円	20.1%	1億3,600万円	39.8%
	公共下水道事業	1億2,240万円	29億630万円	4億4,599万円	15.3%	12億327万円	41.4%	
	老人保健	4,752万円	65億8,312万円	26億7,895万円	40.7%	28億6,120万円	43.5%	
	簡易水道事業	4,980万円	4,980万円	357万円	7.2%	665万円	13.3%	
	介護保険	保険事業勘定	6,527万円	29億3,287万円	10億7,314万円	37.9%	10億2,593万円	36.2%
		介護サービス事業勘定	50万円	50万円	1万円	1.8%		0.0%
合計	380億5,380万円	3億5,970万円	384億1,350万円	156億5,900万円	40.8%	152億3,858万円	39.7%	

これからの取り組み

『右肩上がりの経済』は終えんし、少子・高齢化時代を迎え、やがて人口も減少へと向かいます。量的な拡大を求めたこれまでの発想と認識では、わたしたちのまちの財政は持続して行くことは難しいでしょう。わたしたちのまちの財政は、決して豊かではありません。今、三位一体の改革が盛んに議論されていますが、税源が乏しく、地方交付税に多くを依存するまちにあつては、改革が今後どのような方向へと進むのかによって、大きく影響されます。

市は、市民の皆さんの声に耳を傾け、知恵をいただきながら、財政の健全化と協働のまちづくりに取り組んでいきます。

今後の主な取り組み

- ・ 事務事業の見直し：単独事業の見直し、補助金の削減、民間委託の推進、行政運営の効率化の推進
- ・ 人件費の削減：人員の削減、給与水準の見直し（平成16年10月から3年間）
- ・ 市税収納率の向上
- ・ 使用料・手数料など受益者負担の適正化
- ・ 遊休不動産の売却

市の財政に関する問い合わせは

財政グループ

☎ 85 1 3 3 1 FAX 85 1 1 0 8

Eメール: fin@city.noboribetsu.hokkaido.jp





水道事業会計の 財政公表

市は、皆さんが納入する水道料金などで、毎年度計画的に水道施設の整備を行い、安全で良質な水道水の安定供給を図っています。

今月号では、水道事業会計の平成16年度の決算状況と平成17年度の予算執行状況などをお知らせします。

平成16年度の決算状況

水道事業会計は、収益的収支と資本的収支の2つに分けて予算措置しています。

収益的収支は、皆さんが納付する水道料金などを財源に、浄水場の維持管理などを行う経費で、資本的収支は、国などからの借入金（企業債）などを財源に、給水管や水道メーターの更新などを行う経費です。

それでは、平成16年度（平成16年4月～平成17年3月）の決算状況を見てみましょう【表1】。

収益的収支の収入は、水道料金が92・1%を占め、新築時における給

水設備の新設負担金や下水道使用料の徴収受託料など合計で9億3千500万円となりました。

一方、支出は、室蘭市からの水の購入費（受水費）が17・0%、人件費が16・5%、国などからの借入金に対する支払利息が19・6%、浄水場や配水管などの維持管理費（動力費、委託料、修繕費、その他経費）など合計で8億7千100万円となりました。

この結果、収入が支出を6千400万円上回り、平成13年度以降4年連続の黒字の決算となりました。

次に、資本的収支ですが、収入は、国などからの借入金（企業債）が98・1%、工事負担金が1・9%で2億

平成16年度決算の状況【表1】

1. 収益的収支

収 入			支 出		
科 目	金 額	構成率%	科 目	金 額	構成比%
水 道 料 金	8億6,100万円	92.1%	受 水 費	1億4,800万円	17.0%
受 託 工 事 収 益	3,200万円	3.4%	人 件 費	1億4,400万円	16.5%
そ の 他 営 業 収 益	3,300万円	3.5%	支 払 利 息	1億7,100万円	19.6%
営 業 外 収 益	900万円	1.0%	減 価 償 却 費	2億8,100万円	32.3%
			資 産 減 耗 費	2,000万円	2.3%
			動 力 費	1,400万円	1.6%
			委 託 料	1,400万円	1.6%
			修 繕 費	2,700万円	3.1%
			そ の 他 経 費	5,200万円	6.0%
計	9億3,500万円	100%	計	8億7,100万円	100%

2. 資本的収支

収 入			支 出		
科 目	金 額	構成比%	科 目	金 額	構成比%
企 業 債	2億6,200万円	98.1%	工 事 費	3億600万円	49.6%
工 事 負 担 金	500万円	1.9%	企 業 債 償 還 金	1億6,000万円	25.9%
			人 件 費	3,300万円	5.3%
			量 水 器 購 入 費	4,700万円	7.6%
			修 繕 費	900万円	1.5%
			委 託 料	5,600万円	9.1%
			そ の 他 経 費	600万円	1.0%
計	2億6,700万円	100%	計	6億1,700万円	100%

6千700万円の収入となりました。

支出は、配水管などの整備に係る工事費が49・6%、国などからの借入金の償還金（企業債償還金）が25・9%、水道メーターの購入（量水器購入費）が7・6%など合計で6億

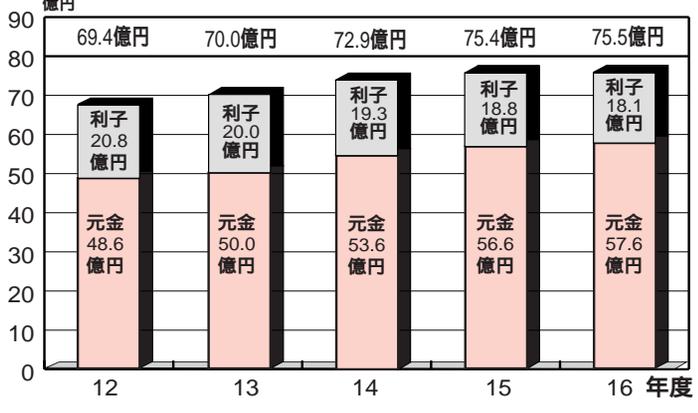
1千700万円の支出となりました。

この結果、3億5千万円の財源不足となりましたが、これは収益的収支の支出のうち現金の支出を必要としない減価償却費など（損益勘定留保資金）で補てんしました。

企業債の状況

企業債は、家庭でいう借金に当たります。市は、皆さんに水道水を安定的にお届けするため、管路の整備や耐震化などの建設投資を計画的に行っています。この投資には多額の資金を必要とするため、その財源として企業債を借り入れしています。平成16年度は、2億6千200万円の企業債を借り入れし、今までに借り入れた企業債のうち元金と利子の合計で約3億3千100万円を返済しました〔グラフ1〕。

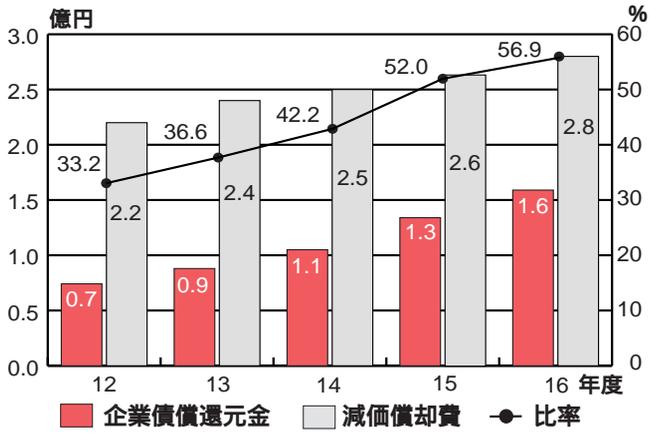
企業債残高の推移【グラフ1】



減価償却費と企業債償還元金のバランス

企業債償還元金が、減価償却費よりも多くなると、償還する資金の調達ができなくなるといわれています。このバランスにより財政の安定度を見ることができます。当市の場合、この比率が増加傾向にあります。現在は企業債発行を抑え、安定した経営を行えるように努めています〔グラフ2〕。

企業債償還元金対減価償却費比率の推移【グラフ2】



給水量と給水戸数の状況

炊事や洗濯、入浴などわたしたち

平成16年度末の市内の人口5万4千10人に対し、給水人口が5万2千951人で約98%（水道普及率）の方が水道を使用しました。給水戸数は、家事用、家事用以外、公衆浴場用、臨時用の4つの用途に分類し、家事用では、給水戸数が2

平成17年度予算執行状況【表2】

1. 収益的収支							
収 入			支 出				
科 目	予 算 額	収入済額	執行率%	科 目	予 算 額	支出済額	執行率%
水道料金	9億円	4億3,900万円	48.8%	受水費	1億8,000万円	7,500万円	41.7%
受託工事収益	3,400万円	1,200万円	35.3%	人件費	1億1,800万円	5,500万円	46.6%
その他営業収益	2,800万円	900万円	32.1%	支払利息	1億7,400万円	8,500万円	48.9%
				減価償却費	2億7,600万円	0円	0.0%
				資産減耗費	2,300万円	0円	0.0%
				その他経費	1億6,900万円	4,500万円	26.6%
計	9億6,200万円	4億6,000万円	47.8%	計	9億4,000万円	2億6,000万円	27.5%

2. 資本的収支

収 入			支 出				
科 目	予 算 額	収入済額	執行率%	科 目	予 算 額	支出済額	執行率%
企業債	1億5,000万円	0円	0.0%	工事費	2億4,800万円	2,800万円	11.3%
工事負担金	400万円	80万円	20.0%	企業債償還金	1億8,100万円	8,900万円	49.2%
				人件費	3,300万円	1,600万円	48.5%
				量水器購入費	5,200万円	4,200万円	80.8%
				修繕費	900万円	500万円	55.6%
				委託料	1,700万円	0円	0.0%
				その他経費	1,900万円	800万円	42.1%
計	1億5,400万円	80万円	0.5%	計	5億5,900万円	1億8,800万円	33.6%

の生活に欠かせない水は、どのくらい使われているのでしょうか。給水戸数は、家事用以外では、給水戸数に変化はありませんが、給水量が平成12年度と比べ、大きく減少しています。これは、長引く景気の低迷が影響していると考えられます。臨時用は、道路などの工事に使用されたものです。



平成17年度の主な事業



登別温泉バイパス工事に伴う配水管の
移設工事（事業費1,500万円）



老朽化の著しい美園ポンプ場を新たな
場所に建設（事業費4,000万円）



登別温泉浄水場全面外壁補修工事（事
業費3,500万円）

平成17年度の予算執行状況

平成17年度の予算の執行状況は、4月から9月までの期間で、収益的収支の収入では、水道料金が前年度と同程度となっており、執行率は47・8%となっております。一方、支出は、減価償却費や支払利息などが年度末に経理を行うため、執行率は27・5%となっております。

また、資本的収支の収入では、予算の約98%が国などからの借入金で、その資金は年度末に交付されるため、工事にかかる負担金のみの収入で執行率は0・5%となっております。一方、支出は、配水管の整備事業や水道メーターの購入、借入金の償還などで執行率は33・6%となっております【表2】。

水道の使用開始と停止などの手続き

転入や転出、転居などにより、水道の使用を開始する場合や停止する場合は、必ず水道グループまで連絡してください。

また、長期間家を空ける場合など、一時的に水を使用しない場合についても連絡をお願いします。

水道料金の納入方法

納入通知書による納入

水道メーターの検針は2カ月に一度行っています。検針月の翌月15日過ぎに納入通知書を郵送しますので、お近くの金融機関やコンビニ、水道グループ、各支所の窓口でお支払い

ください。

口座振替による納入

水道メーターの検針は2カ月に一度行っています。検針月の翌月23日（土・日曜日、祝日の場合は翌日）に指定の口座から振り替えさせていただきます。

なお、23日に振り替えにならなかった場合は、翌月の5日（土・日曜日、祝日の場合は翌日）に再振り替え（郵便局を除く）させていただきます。

口座振替の申込方法

『水道・下水道使用水量・料金のお知らせ』または『納入通知書』と預金通帳、金融機関お届け印をお持ちになり、金融機関へお申し込みください。申し込み用紙は金融機関にあります。また、水道グループの窓口でもお取り次ぎします。

給水を停止する場合

給水停止は、納入通知書の納入期限を過ぎてもお支払いいただけないお客様に対し、数回にわたる料金支払いのお願いを行ったにもかかわらず、お支払いがない場合、やむを得ず給水停止を行うものです。

給水停止は、水道法第52条第3項と登別市水道事業条例第40条の規定に基づき行います。

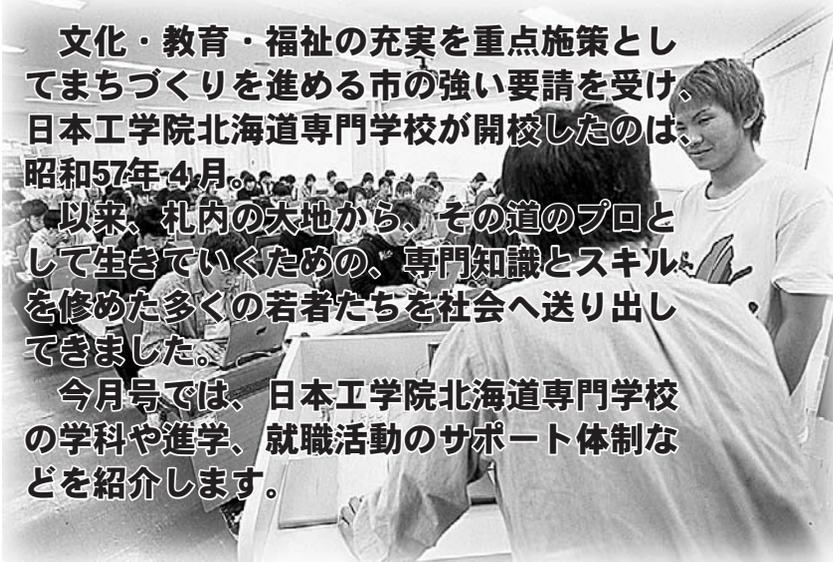
問い合わせ 水道グループ

☎ 85 5 5 0 1 FAX 85 5 8 0 5

Eメール：gyoumu@city.
noboribetsu.hokkaido.jp

日本工学院北海道専門学校紹介

一人ひとりの意欲に応え、
あなたの夢をふ化させる。
そんな環境がここにある。



文化・教育・福祉の充実を重点施策としてまちづくりを進める市の強い要請を受け日本工学院北海道専門学校が開校したのは、昭和57年4月。

以来、札内の大地から、その道のプロとして生きていくための、専門知識とスキルを修めた多くの若者たちを社会へ送り出してきました。

今月号では、日本工学院北海道専門学校の学科や進学、就職活動のサポート体制などを紹介します。



多彩な学科をそろえ、多くのエキスパートを育成

～学科紹介～

さまざまな分野のエキスパートを数多く育成してきた日本工学院北海道専門学校。マルチメディア・コンピュータ・公務員系、エンジニアリング系、建設系、医療系と多彩な学科（13学科）をそろえる学校で、21世紀を担う若者たちが、未来のために興味あることを学んでいます。



日本工学院北海道専門学校
〒059-8601 登別市札内町184-3
☎ 88 0888 ・ ☎ 88 0900
ホームページアドレス
<http://www.neec.ac.jp/>

さらに知識を深めたい学生のために

～大学3年次編入制度～

平成12年度に学校教育法の一部が改正され、専門学校から大学3年次に編入できる制度ができました。日本工学院北海道専門学校からは、この制度を利用して東京工科大学（姉妹校）や室蘭工業大学などに、これまで23人が編入しています。今年度も6人の学生が3年次編入試験に合格。室蘭工業大学には、7年連続で合格者を輩出しています。

学生の就職活動をしっかりとサポート

日本工学院北海道専門学校では、学生の就職活動をサポートするため、1年次から2年次にかけてさまざまな就職対策を講じています。1年次後期の就職ガイダンスでは、

医療事務コース開設

学校が独自に製作している『就職の手引き』を配布。この冊子をもとに企業訪問の仕方や履歴書の書き方、面接の受け方など就職活動に必要な基礎知識を身に付けます。その後、入社試験や面接に慣れるため、就職模擬試験や模擬面接を行います。さらに、企業の方を招いた就職セミナーや学内、札幌で開催される合同企業説明会への参加などを通して、学生の就職に対する意識を高め、内定を獲得するまでしっかりとサポートしていきます。



学内で開催された企業説明会

日本工学院北海道専門学校では、医療事務のコンピュータ化と電子カルテに対応するため、平成17年4月に医療事務コースを開設しました。今、医療の現場では、レセプト（診療報酬明細書）事務の知識はもとより、患者さんの個人データをコンピュータで管理しているため、医療事務のエキスパートとして、幅広いコンピュータの知識や技術を持つ人材を求めています。日本工学院北海道専門学校では、長年の情報処理教育のノウハウを生かし、医療現場のコンピュータ化に対応できる技術者を養成しています。

学科紹介

●マルチメディア科



コンピュータゲームコース/コンピュータグラフィックスコース/デジタルデザインコース/アニメーションコース
実習中心のカリキュラムで、業界で活躍できる高度なテクニックと感性を兼ね備えたクリエイターを目指します。

●情報処理科

情報システムコース
パソコンビジネスコース/医療事務コース



プログラム制作やシステム設計ができる高度な技術と知識の習得、ビジネスの現場で役立つパソコン操作と幅広い知識の徹底的な習得、電子カルテに対応できる知識などの習得を目指します。

●行政学科



公務員を目指す学科。徹底して公務員合格を的に絞った内容で、試験には1年目からチャレンジ可能。合格した場合は、3月で終了し、公務員として就職することができます。

●自動車工学科



最新の整備機器と豊富な教材車両を使い、ハイテク化が進む自動車技術を身に付けます。二級自動車整備士の資格取得を目標に、ハイレベルなメカニックを目指します。

●総合テクノロジー科



創造性と人間性の両方を兼ね備えたエンジニアを育成。ソーラーカーやロボット、福祉機器など、多彩な分野に優れたテクノロジーを発信しませんか。

●電気工学科

目指すは、電気に関する専門知識とコンピュータ社会にも対応できる確かな技術を持ったハイテク時代対応のスペシャリスト。将来は電気を取り扱うあらゆる場所が活躍の舞台。



●土木工学科



地図に残る大きな仕事を手がける土木のプロを育成。卒業生は、公務員をはじめ、土木施工管理技士や設計コンサルタントとして工事に携わるなど、進路は多彩です。

●しん灸科

国家試験の合格を目指し、東洋医学の手技と西洋医学の解剖学や生理学などを重点的に学びます。開業や幅広い職業にも対応できる確かな実力者を育成します。



●建築学科



建築デザインコース/建築テクニカルコース
建築に関する基礎知識を身に付け、さらにインテリアやエクステリアなどで優れたデザインセンスも発揮できる建築士や建築施工管理技士を目指します。

●柔道整復科



人体の構造を西洋医学から、治療の枠組みと理論、技術は伝統医療から習得。国家試験合格を目標に、スポーツやリハビリテーションなど、社会のさまざまなニーズに対応できる能力を養成します。

インタビュー



室蘭工業大学
情報工学科3
年に編入が決定

きだ さとし
木田 諭さん

(情報処理科：東京都
新宿山吹高校卒業)

「何で東京からこの学校を選んだの」とよく聞かれます。北海道には親せきも多く、何度か来ていましたが、一度住んでみたいと思っていました。東京の工学院を見学した際に北海道校のことを知り、片柳学園が運営している学校なので不安もなく入学を決めました。

日本工学院では、自分の興味のあることをしっかりと学べ、今までの人生の中で一番勉強したと思います。その成果もあってか、基本情報技術者の資格など5つの資格を取得しました。

大学へ編入後は、ここで学んだ技術や知識を生かし、さらに学びたいです。

自分の興味のあることを学び、
たくさん
の資格
を取得
しました

第24回工学院祭
実行委員長を務
めた

てらしま あやこ
寺島亜矢子さん

(マルチメディア科：
美幌高校卒業)



素晴らしい施設・設備で、
最新の技術
を学びました

何かやりがいのある事をしたいと思い、今年の学院祭で実行委員長を務めました。学院祭は大成功で、学生からは「楽しかったよ」と声を掛けられ、今までの学院生活の中で一番の思い出になりました。

日本工学院を選んだのは、体験入学の際に施設などが素晴らしかったことや不安に思っていたことなどに親切に答えてくれたこと、また、寮費が安く親の負担も少なくすむことから入学を決めました。

卒業後は、学院に補助教員として残ります。先生に聞きづらいことなどを友だち感覚で生徒に教えてあげられるような存在になりたいです。

観光客のもてなし方を考える

～地域資源とおもてなしの心

『一人一人がコンシェルジュマインドを』～

10月30日(日)、市内のホテルで、シンポジウム『地域資源とおもてなしの心～一人一人がコンシェルジュマインドを～』（登別市・白老町広域雇用創出クラスター担い手育成事業推進協議会主催）が開かれました。

このシンポジウムは、地域の観光資源を見つめ直すとともに、観光客のもてなし方を考えてもらおうと行われたもので、約80人が参加しました。

最初に、札幌市内のホテルでコンシェルジュとして活躍する岡西昭子さんが『コンシェルジュの表舞台と舞台裏』と題して講演。岡西さんは「コンシェルジュは、ガイドであり、コーディネーター、アドバイザーでもあります。困っているお客さんを助けられるのはコンシェルジュ。助けてあげたい、何かしてあげたいと思うのが『一人一人がコンシェルジュマインドを』ではないかと思います」と話していました。

続いて、日本観光旅館連盟副会長の澤功さんが『地域ぐるみのおもてなし～外国人のお客様対応を通して～』と題して講演。澤さんは「外国人観光客は、まちぐるみで受け入れることが大切。外国語が話せなくても、単語だけでもコミュニケーションが取れます。ちょっとした親切やふれあいも大事です」と述べ、参加者はメモを取りながら熱心に耳を傾けていました。

この後、登別温泉町の飲食店主・飯島武さん、白老町アイヌ民族博物館の山丸郁夫さん、岡西さん、澤さんの4人が『地域資源とおもてなし』をテーマにパネルディスカッションを行い、それぞれの考えを発表・討論していました。



パネルディスカッション
『地域資源とおもてなし』

日ごろの活動の成果を発表

～生涯学習フェスティバル～

10月22日(土)、市民会館で『生涯学習フェスティバル』が開かれ、約600人の市民が参加しました。

この催しは、市内の生涯学習団体などが集い、日ごろの活動の紹介や成果を発表するもので、2年ごとに行われています。

フェスティバルは、登別出身の三味線奏者・白田路明さんによる演奏で開幕。ステージでは、太鼓や郷土芸能、よさこいソーラン、ときめき大学の学生によるハーモニカの演奏とフラダンスが披露され、会場に詰め掛けた市民から盛大な拍手が送られていました。

このほか、学び体験コーナーでは、魚拓や陶芸、竹とんぼ作りなどが行われ、参加者は学ぶ楽しさを体験していました。



ときめき大学の学生によるハーモニカ演奏

100年先の森づくりを目指して

～鉾山流里山づくり森林整備ボランティア『チカタビレンジャー』～

11月3日(木)、鉾山町で、鉾山流里山づくり森林整備ボランティア『チカタビレンジャー』の初活動が行われ、25人の市民が参加しました。

この活動は、ふおれすと鉾山が進める『鉾山流里山づくりプロジェクト』の一環で、100年先の森づくりを目指し、市民の手で鉾山町に誰もが持続的に楽しめる森を育てていくことを目的に行われるものです。

この日は、来春、ふおれすと鉾山周辺で行う植樹に必要な苗木を選ぶ作業。地下足袋や長靴を履いた参加者は、カエデやミズナラなど、人間の手が加えられていない高さ30センチほどの木に、目印となるピンク色のリボンを巻きつけるなどの作業に汗を流していました。



住み良いまちづくりを目指して

～平成17年度地区懇談会～

10月25日(火)から11月24日(木)まで、市内10会場で『平成17年度地区懇談会』が開かれました。

この懇談会は、市が施策や計画などを情報提供するとともに、住環境の改善や地域の活性化、地域が抱える課題などについて、各地区連合町内会から提出されたテーマをもとに、役員の皆さんと市長以下市の幹部職員が懇談を行うもので、毎年この時期に開催されています。

今年も、来年の全戸配布を目指して、現在、作成が進められているハザードマップについて、市から情報提供が行われた後、各地区連合町内会から提出された防災対策や川の管理、公共施設の跡地利用、漁港の整備など合計30件のテーマの解決に向けて、各地区連合町内会と市が意見交換をしました。

参加した市民は、より良いまちづくりに向けて、活発な議論を展開していました。



10月26日(水)、婦人センターで開かれた地区懇談会

ふるさと登別に思いを寄せて

～第17回東京登別げんきかい
総会・懇親会・情報交換会～

11月12日(土)、東京・羽田空港第1旅客ターミナルビル内で『第17回東京登別げんきかい総会・懇親会・情報交換会』が開かれ、約120人の会員が出席しました。

同会は、首都圏在住の登別出身者や登別にゆかりのある皆さんにより、平成元年に設立されたもので、今年で17年目を迎えました。

情報交換会では、登別出身で元東京高等裁判所判事の若佐善巳さんの瑞宝重光章受章を記念して、遺言や成年後見制度についての講演が行われました。

また、総会・懇親会では、上野市長が登別の近況を報告したほか、登別で水揚げされた毛ガニやサケ、ホッキ貝などを材料にした料理が振る舞われ、出席者はふるさとの味に舌鼓を打ちながら、登別の思い出話に花を咲かせていました。

最後は、毎年恒例の『鬼踊り』と『大抽選会』で懇親会を締めくくりました。



本の魅力って素晴らしい

～第1回図書館まつり～

11月13日(日)、市立図書館で『第1回図書館まつり』(図書館まつり実行委員会主催)が開かれました。

この催しは、図書館の魅力を多くの市民にもっと知ってもらおうと、登別の図書館を考える会や読み聞かせサークル、NPO法人登別自然活動支援組織モモンガくらぶなどが協力し、初めて開催されたものです。

会場では、池谷陽子さん(絵本作家)の布の原画や『のぼりべつの図書館を考える会』の活動紹介の展示のほか、好きな本の名前を書いてつくる『私の好きな本の木』作り、手づくり紙芝居、手話劇、富樫利一さん(郷土史家)による『知里幸恵の背景を探る』の講演などが行われ、家族連れや子どもたちで一日中にぎわいました。





夜間パトロールを行う若葉町内会の皆さん

市民リポーター
久慈 嵩さん

くじ たかし

若草町在住。
室蘭市出身。元会社員。
現在、登別市シルバー
人材センターの広報編
集委員を務めているほ
か、観光ボランティア
ガイドを務める。



守ろう、 わたしたちの 地域の安全

防犯に対する取り組み

車上ねらいや詐欺、
空き巣などの犯罪が、
わたしたちの生活を
脅かしています。

地域の安全は地域で守ろう
という考えで、

独自の防犯対策に取り組んでいる
町内会などを訪問し、
その取り組みなどにつ
いてリポートしました。

地域の安全は
自分たちで

「平成15年10月、緑陽中学校の
学区で不審者の出没が続出し、
地域の子どもたちは、地域で守る
うと考えたのがきっかけで、夜間
パトロールを始めました」と話す
のは、若葉町内会（210世帯）の会
長・松山惇さん。
夜間パトロールは、月1回、町
内会の会員で、街灯の明かりが届
かない暗がりなどを重点的にに行
っているそうです。
「パトロールを実施するに当た
っては、新生交番の指導を受け、



松山 惇さん

夜光チョッキや赤色スター棒など
もお借りしました。時間の調整が
つくと交番の方もパトロールに参
加してくれるんですよ。街灯を町
内のすべての道路につけることが
できれば明るくていいんですが、
そうすることもできません。そこ
で、交番の方から不審者を寄せ付
けないために、住宅の門灯の点灯
を皆さんにお願いし、明るいまち
にしては、とのアドバイスを受け、



市民リポートは、市民の皆さんが自由に発想・企画するページです。

子どもたちの
安全を守るために

「青少年補導員を務めている関

町内会の回覧で協力を要請したところ、皆さんに協力していただき大変助かっています」と話す松山さん。
パトロールに参加できない方も
門灯をつけることで協力しており、
地域全体の防犯に対する意識の高
さがうかがえます。
「パトロールをしていると、一
人暮らしの高齢者からは、『枕を
高くして眠れます』と喜ばれたり、
緑陽中学校の生徒とすれ違うと
『こんばんは、ご苦労さまです』
と声を掛けられたりします。ボラ
ンティアで行っていますので、声
を掛けられるのはすごくうれし
いですね。以前、パトロール中に
ぞきを発見したこともあるんです
よ。犯人を捕まえることはできま
せんでしたが」とエピソードなど
も話してくれました。

登別市内刑法犯認知件数

刑法犯総数			
区分	平成17年	平成16年	増減
重要犯罪	4	4	0
粗暴犯	5	15	-10
窃盗犯	376	529	-153
知能犯	19	9	10
風俗犯	1	0	1
その他	80	54	26
総数	485	611	-126

各年の件数は、それぞれ1月から10月末までの件数です（登別交番提供資料）。

重要犯罪：殺人や強盗など。

粗暴犯：暴行や傷害など。

窃盗犯：空き巣や自転車盗難、車上ねらいなど。

知能犯：詐欺や業務上横領など。

その他：器物破損や住居侵入など。



児童の下校に同伴する美園・若草地区連合町内会の皆さん



係で、警察から『不審者が多発しています』との連絡があり、とにかく子どもたちの安全を守らなければと思ったのがこの取り組みを始めるきっかけでした」と話すのは美園・若草地区連合町内会事務局長の木村三郎さん。



木村三郎さん

美園・若草地区連合町内会では不審者から子どもたちを守ろうと今年の4月から、月2回、若草小学校の児童の下校に同伴する取り組みを始めたそうです。

また、10月にはこの取り組みが、地域ぐるみで子育てに取り込む団体を対象とした、市の『せわやき・せわすき隊』に登録されました。

「子どもたちの下校に同伴するようになってからは、不審者などの出没はなくなりました。この取り組みは、月2回、若草小学校の学区にある若草・若草第2・美園・美園南・旭丘町内会の会員が1・2年生の下校時に合わせて各地区ごとに一緒に帰っているんですよ。子どもたちとは、学校での出来事などいろいろなことを話します。子どもたちと話すのは楽し

いですね。保護者の皆さんからは「苦労さまです、とねぎらいの言葉を掛けられ、やりがいもあります。このような取り組みが全体的に広がる、犯罪の抑止力にもなり、安心して暮らせるまちになるのではないのでしょうか」

防犯に対する意識を高く持ちましよう

「登別市内では、犯罪の件数は昨年と比べると減少しているんですよ」と話すのは登別交番係長の佐藤安則さん。



佐藤安則さん

「犯罪は、警察の取り組みだけではなかなか減少しません。警察のパトロールにも限界があります。市民の皆さんや関係団体からの情報提供があつて初めて効果的なパトロールができます。地域規模の防犯に対する取り組みは犯罪を少なくし、犯罪の抑止力にもなります。安全で安心して暮らせるまちにするため、わたしたち警察もパトカーや制服を着てのパトロールなど、24時間体制で警戒しています。小さな情報から大きな事件解

決の糸口になることもありますので、何かあれば連絡してください」と話す佐藤さんは、「自分だけは被害に遭わないだろう。うちだけは泥棒に入られないだろう。ちょっとした外出だから鍵を掛けなくても大丈夫だろう。などの『だろう』という考えや思い込みが被害をもたらす原因の一つでもありません。犯罪は、自己で防止する考えがなければ防げません。つまり、犯罪を助長する行為を一つでもなくすることが犯罪防止につながります」と犯罪の被害に遭わないためのアドバイスもしてくれました。

地域ぐるみの取り組みが重要

一連の防犯に対する取り組みの取材を終え、登別交番の佐藤さんも言われていましたが、『水と安全はタダ』と言われてきた時代は終わったのではないのでしょうか。

犯罪を減少させるには、市民一人ひとりが防犯に対する意識を高く持ち、犯罪を未然に防ぐ取り組みや犯罪を行いやすい環境をつくらないことが重要であること、また、個人ができる防犯対策には限界があることから、地域住民による声掛けなどのコミュニケーションを活発化させ、地域ぐるみで対策を取ることの重要性が分かりました。

あなたも市民リポーターになって、市内の話題やまちの動きなどをリポートしてみませんか。平成18年度市民リポーターについての申し込み・問い合わせは情報推進グループ（☎856586）まで。

トイレトレーニングのポイント 子育て伝言板

中央子育て支援センター

主査 石井 静枝

子どもが、生まれてから成長する過程で、覚えなければならぬことのひとつに排泄があります。簡単にできるようで、できないのが排泄のしつけ。失敗を恐れていてはいつまでたっても覚えることができません。

思い切ってオムツからパンツに切り替えると、最初は失敗もありますが、その都度「シーシー、ママに教えてね」「シーシーはトイレしようね」などと繰り返ししているうちに、自分から動作や言葉で教えてくれるようになります。

この時期はパンツを汚す場合が多いので、枚数をそろえておくことと保護者にも余裕ができるでしょう。また、3歳ごろになると、遊びに夢中になるため、今まで一人でできていたのに、オシッコを漏らしてしまうこともあります。

しかし、濡れた不快感を泣いて知らせたり、オシッコが出てから知らせたりしているうちに、我慢することができるようになりますので、あせらないことが大切です。



ちょっとした大人の言葉遣いやトイレの場所が変わると緊張し、大人が一生懸命になっても受け入れてくれないこともあります。

■ 排泄つの間隔をつかむ（2時間くらい我慢できるなど）

■ 「オシッコが出たら教えてね！」と子どもに話す

■ 教えたら、たくさん褒める（自信をもたせる）

■ 失敗してもあせらない「今度教えてね！」と気長に見守る

■ 思い切ってパンツに切り替える
トイレトレーニングは、子どもの年齢にこだわらず、濡らしたら取り替え、時間を見計らってトイレに誘い、上手にできたら褒めて、自信が持てるようになるまで、あせらず気長にしつけるよう心掛けます。

問い合わせ 子育てグループ

(☎ 85 5 6 3 4)

人が輝き まちがときめく

仲間たち Group



バドミントンサークル『四つ葉サークル』

『四つ葉サークル』は、バドミントンを通して、健康づくりや仲間づくりを図ると、平成元年に結成されました。

現在、会員は40歳代から60歳代までの10人。毎週金曜日の午前、総合体育館に集まり、さわやかな汗を流しています。

「会員には、バドミントンの経験者もいますが、健康づくりが目的なので、初心者の方も安心して参加できます。季節を問わず、気軽に楽しめるのがバドミントンの魅力。ぜひ、わたしたちと一緒に心地良い汗を流してみませんか」と入会を呼び掛けるのは、代表の桜井英雄さん。

「バドミントンの技術向上よりも、プレーを楽しむことを第一に活動しています。いつも和気あいあいの雰囲気、プレー中も笑い

技術向上よりも、プレーを楽しむことを第一に活動しています



が絶えることのない、楽しいサークルです」と桜井さんは、活動の様子を話してくれました。

サークルでは、活動のほか、食事会や自然散策会などを行い、会員同士の親ほくも図っています。

2年前に入会した菊地隆さん・房子さん夫妻は、「転勤で千葉県から戻ってきたときに、友人に誘われて入会しました。バドミントンは以前からやっていますが、今でもサーブが入ったり、スマッシュが決まったりしたときが一番うれいのですね。サークルで新しい友人もでき、毎週、総合体育館に出掛ける日が待ち遠しいです。健康のためにも、これからも長く続けていきたいですね」と笑顔で話してくれました。

入会を希望される方は、桜井さん(☎ 86 9 1 5 4)までどうぞ。

情報あらかると

くろーずあっぷ

- 19 12月は道税・市税の納税推進強調月間です
- 19 平成17年工業統計調査にご協力ください
- 20 除雪作業にご協力ください
- 20 水道の凍結にご用心!
- 21 郷土資料館・文化伝承館体験学習『冬休み工作教室』に参加しませんか
- 21 子育て支援センターからのお知らせ
- 22 しんた21からのお知らせ
- 24 クリンクルセンターからのお知らせ
- 25 文化・スポーツ振興財団からのお知らせ
- 25 わが家の味自慢 第29回つけものフェスティバル
- 26 消防本部からのお知らせ
- 27 グリーンデータバンク
- 28 年末年始の業務案内
- 30 平成18年登別市成人祭

毎月のお知らせ

- 21 無料法律相談
- 22 12月・年末年始の歯科救急医療
- 23 1月の集団予防接種
- 23 健康相談・診査
- 24 1月の粗大ごみ収集
- 29 今月の新着図書
- 29 不用品ダイヤル市

忘れずに納めましょう

国民健康保険税(第7期)、介護保険料(普通徴収第6期)の納期限は12月26日(月)、固定資産税・都市計画税(第4期)の納期限は12月30日(金)です。

納入には、便利な口座振替制度もありますので、ご利用ください。

問い合わせ 国保・年金G(☎85 1 7 7 1)、高齢・介護・障害福祉G(☎85 5 7 2 0)、税務G(☎85 1 1 5 5)

12月							1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31				

12月は道税・市税の納税推進強調月間です

道税・市税の納税を忘れていませんか。

胆振支庁と市は、12月を納税推進強調月間として、滞納整理を行います。まだ、納税されていない方は、すぐに納めましょう。

道税の問い合わせ 胆振支庁納税課(☎24 9 5 8 4)
市税の問い合わせ 税務G(☎85 1 1 5 5)

平成17年工業統計調査にご協力ください

経済産業省は、12月31日(土)現在

で、平成17年工業統計調査を実施します。

この調査は、製造業を営むすべての事業所を対象に、その活動実態を明らかにし、工業に関する施策の基礎資料を得ることを目的として行われます。

12月から来年1月にかけて調査員が伺いますので、調査票の記入にご協力をお願いします。

問い合わせ 総務G(☎80 2 7 5 5)

『一日行政相談』を偶数月に開催しています

国や特殊法人(公団・事業団・銀行・公庫)、北海道、市の業務に関する苦情や意見、要望をお持ち

『申し込み』『申し込み』『問い合わせ』『中の』『G』は『グループ』の略です

ちの方はお気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は固く守られます。

日時 12月15日(木) 10時~12時
場所 登別郵便局(JR幌別駅西口前)

行政相談委員 前川博さん、山形真子さん
問い合わせ 情報推進G(☎85 6 5 8 6)

家庭教育・子育て支援講演会を開催します

子育てに不安を感じているお母さん、お父さん。孫育てに戸惑いを感じているおじいちゃん、おばあちゃん。子育て、孫育てのヒントを学びませんか。

日時 12月13日(火) 10時~11時30分
場所 市民会館大会議室
講師 吉田淑恵さん(NPO法人ワニワニクラブの仲間達の会理事長)
参加料 無料
当日、託児を行います(事前連絡が必要です)。
問い合わせ 社会教育G(☎88 1 1 2 9)



かると

特別支援教育講演会を開催します

市・登別市障害者福祉計画
市民策定委員会主催

日時 12月20日(火) 9時30分～12時

場所 しんた21

演題 『特別支援教育の今後について』

講師 百井悦子^{ひびひろこ}さん(北海道室蘭養護学校長)

参加料 無料

当日、直接会場にお越しください。

問い合わせ 高齢・介護・障害福祉G (☎853732)

排水設備工事責任技術者資格登録更新のお知らせ

排水設備工事責任技術者資格の有効期間は4年間のため、資格登録者は4年ごとに資格登録の更新手続きを必要があります。

更新対象者は、日本下水道協会より郵送された申し込み書などで受け付け期間内に手続きを行ってください。

対象者 平成13年度に北海道排水設備工事責任技術者試験に合格した方、または資格登録更新手続きを行った方で、資格登録期間が平成18年3月31日で満了する資格登録者

受付期間 平成18年1月16日(月)～20日(金)

申し込み場所については、実施案内をご覧ください。

更新方法 手続き終了後、更新用テキストを配布します

手数料

●更新手数料3千円(テキスト代を含む)

●資格認定証交付等手数料2千円

問い合わせ 下水道G (☎859052)

『チカタブレンジャー』山づくりを楽しむ材を生み出すためには、『』の参加者を募集します

鉾山流里山づくり森林整備ボランティア『チカタブレンジャー』は、ふおれすと鉾山周辺の森が人にも動物にも居心地の良い場所になるよう、林業体験や森づくりを楽しむながら、森林整備を行っています。

今回は、トドマツを間伐して、木を切り出し、材にしておく作業を行います。

日時 12月10日(土) 10時～15時

集合場所 ふおれすと鉾山

参加料 100円(傷害保険料)

持ち物 軍手、昼食、タオル、地下足袋または長靴など

申し込み 12月9日(金)までに電話でふおれすと鉾山(☎852569)

『申し込み』中の『G』は『グループ』の略です
『問い合わせ』

水道の凍結にご用心!

水道凍結の起こりやすい季節が近づきました。気温が氷点下になると、日中でも水道が凍結することがあります。



水道が凍結したときは、蛇口から床板までの給水管にタオルを巻き付け、全体が温まるようにお湯を少しずつかけると、軽い凍結であれば水が出ます(破裂する恐れがあるので、直接、熱湯はかけないでください)。

それでも水が出ないときはご連絡ください。

水道を凍結から守るには

- 寒くなる前に正常に水落としができることを確認する。
- 床下の換気口を閉め、冷たい風を防ぐ。
- 日中でも寒さの厳しいときや外出するときは、水を落とす。

水道凍結修理費用の負担

水道メーターから配水管側の凍結修理は市が負担し、水道メーターから蛇口までは、使用者の負担になります。

凍結時の連絡先 水道G (☎855510)
土・日曜日、祝日、夜間、年末年始は市役所
(☎852111)

除雪作業にご協力ください

市は、降雪シーズンに向けて除雪作業の出動態勢を整え、市が委託した業者の除雪車と、市が所有する除雪車で除雪作業を行います。



次のことについて皆様のご協力をお願いします。

路上駐車をしない

路上駐車があると、除雪作業ができません。また、道路内に障害物(看板や車両の出入用の鉄板、木材など)が放置されると、除雪作業の妨げになり、効率的で安全な除雪作業を行うことができません。

道路に雪を出さない

除雪された道路に雪を出すと、道幅が狭くなり、わだちがでやすいため、大変危険です。

除雪車に近づかない

除雪作業中の安全を確保するため、除雪車には近寄らないでください。

滑り止め用の砂、融雪剤の散布にご協力を

急な坂道には、滑り止め用の砂箱を置いています。散布と管理に皆様のご協力をお願いします。

除雪や排雪についての問い合わせ
土木公園G (☎853260)

情報あら



場所 文化伝承館（郷土資料館）

日時	内容	材料費	定員 (申込順)
平成18年 1月12日(木) 10時～12時	【本立て】 『のこ』や『金づち』を使って、木製の本立てを作ります。 【木製パズル】 木の板に好きな絵を描いて、パズルを作ります。	300円	10人
平成18年 1月13日(金) 10時～12時	【はと笛】 木を糸のこで切り、張り合わせてつくりまします。 【メリーゴーラウンド】 糸を引くと、飾りがクルクルと踊りだします。	100円	15人
		無料	20人
			15人

郷土資料館・文化伝承館体験学習
『冬休み工作教室』に
参加しませんか
日時・内容・材料費・定員

対象 小・中学生とその保護者

（小学3年生以下は保護者の同伴が必要です）

高校生以上は別途入館料190円がかかります。

申し込み 12月15日(木)から電話
(10時～16時)で郷土資料館
(☎881339)

農業委員会委員選挙人名簿の登録をしましょう

平成18年1月1日現在、登別市に住所を有し、平成18年3月31日現在、20歳以上の方で、次のに該当する方は、農業委員会委員選挙人名簿への登録をしてください。

面積30㎡（3反歩）以上の農地で耕作の業務を営む方
前記の方と同居している親族
またはその配偶者で、年間60日以上農業に従事している方
面積30㎡以上の農地で耕作の業務を営む農業生産法人の組合員
または社員で、原則、年間150日以上農業に従事している方

申込方法 所定の様式に必要事項を記入の上、平成18年1月10日(火)までに農業委員会事務局に持参または郵送してください
(期限厳守)

問い合わせ 農業委員会事務局
(☎859190)

無料法律相談

交通事故や金銭貸借、損害賠償、離婚などの法律問題について、札幌弁護士会室蘭支部の弁護士が相談をお受けします。相談を希望する方は事前にお申し込みください。なお、裁判や調停中の問題は相談をお受けできません。

鉄南ふれあいセンターでの相談

日時 1月21日(土) 9時30分～

場所 鉄南ふれあいセンター

担当弁護士 奈良泰哉弁護士

定員 6人(申込順)

弁護士事務所での相談

担当弁護士 奈良泰哉弁護士

定員 6人(申込順)

相談日時については、市民サービスグループにお問い合わせください。

申し込みは、12月28日(水)までに電話で市民サービスグループにお申し込みください

申し込み・問い合わせ

市民サービスグループ(☎851855)

子育て支援センターからのお知らせ

移動子育て支援センターに遊びに来ませんか

地域の子どもたちが遊んだり、保護者の皆さんが交流したりする場として、子育て支援センターの職員が遊具や絵本を持って出かけます。

日時 12月9日(金) 10時～12時

場所 若草放課後児童クラブ(若草小学校内)

対象 市内に居住する小学校入学前のお子さん

とその保護者

持ち物 上靴(親子とも)

当日、直接会場へお越しください。

放課後児童クラブ玄関前の駐車場をご利用ください。



『お父さんと遊ぼう』に参加しませんか

子育て支援センターで、親子の触れ合いを楽しんでみませんか。

日時 12月17日(土) 10時～12時

場所 中央子育て支援センター(富士保育所横)

対象 市内に居住する小学校入学前のお子さん

とお父さん

内容 絵本や遊具を使った自由遊びなど

当日、直接会場へお越しください。

車でお越しの方は、駐車場をご利用ください。



問い合わせ

中央子育て支援センター(☎813715)

かると

源泉所得税の納期限のお知らせ

『源泉所得税の納期の特例』の承認を受けている源泉徴収義務者の方が、平成17年7月から12月までに支払った給与、退職金、税理士報酬などから源泉徴収をした所得税の納期限は、平成18年1月10日(火)（一定の要件を満たし、『納期限の特例に関する届出書』を提出している方は平成18年1月20日(金)）です。

納期限までに納付されない場合は、加算税や延滞税が課されることとなりますので、忘れずに納期限までに納付してください。

問い合わせ 室蘭税務署法人課
税第一部門（源泉所得税担当）
☎224436

『あつそつだ！ 今年の最賃いくらかかな？』

～北海道の最低賃金について～

最低賃金制度は、労働者の労働条件の改善向上と生活の安定を目的に、北海道内のすべての事業者と労働者に適用されるものです。

北海道最低賃金と産業別最低賃金が次のとおり改正されました。

事業主をはじめ、市民の皆さんは、職場における最低賃金制度の徹底について、ご理解とご協力を

お願いします。

最低賃金の件名	最低賃金額	発効日
北海道（地域別）最低賃金	時間額 641円	10月1日
産業別最低賃金	乳製品、糖類製造業	時間額 718円
	鉄鋼業	時間額 762円
	電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、電子部品・デバイス製造業	時間額 714円
	船舶製造・修理業、船体ブロック製造業	時間額 719円
	鋼船製造・修理業、船体ブロック製造業、舟艇製造・修理業	日額 5,684円 時間額 711円

詳しくはお問い合わせください。
問い合わせ 室蘭労働基準監督署
☎236131

『特設人権・困りごと相談所』を開設します

人権や離婚、不動産、金銭、雇
用、いじめなどの問題について、
人権擁護委員が無料で相談をお受
けします。秘密は固く守られます。

日時 12月14日(水) 10時～15時
場所 ポスフル登別2階ギヤ
ラリー

詳しくはお問い合わせください。
問い合わせ 室蘭人権擁護委員
協議会事務局（札幌法務局室蘭
支局総務課内 ☎25111）

『申し込み』中の『G』は『グループ』の略です
『問い合わせ』

12月・年末年始の歯科救急医療

日時・診療所名・住所・電話番号

日時	診療所名	住所・電話番号
12月4日(日) 9時～11時	横山歯科 医院	室蘭市母恋北町2丁目3-16 ☎222394
	高橋歯科 医院	登別市若草町3丁目14-10 ☎862250
12月11日(日) 9時～11時	エルム歯科 蘭東診療所	室蘭市中島町2丁目23-3 ☎436161
	福田歯科 医院	伊達市錦町92-7 ☎0142234107
12月18日(日) 9時～11時	林歯科医院	室蘭市高砂町1丁目51-18 ☎462224
12月23日(金) 9時～11時	高砂公園 歯科	室蘭市高砂町2丁目1-21 ☎432118
12月25日(日) 9時～11時	和久歯科 医院	室蘭市輪西町1丁目37-8 ☎445566
12月31日(土) 9時～11時	ふかせ歯科 医院	登別市中央町2丁目16-5 ☎852477
1月1日(日) 9時～11時	三国ファミ リー歯科	登別市美園町4丁目2-12 ☎861111
1月2日(月) 9時～11時	なががわ 歯科医院	登別市中央町5丁目22-1 ☎857651
1月3日(火) 9時～11時	宮武歯科 医院	登別市中央町1丁目4-1 ☎852826

献血にご協力ください

依然、全種類の血液が不足しています。より多くの皆様のご協力をお願いします。

日時・場所

日時	場所
12月20日(火) 10時～12時30分、13時30分～17時	ポスフル登別前
平成18年1月5日(木) 10時～12時、13時～16時30分	イーストショップ前



麻しん・風しんの予防接種が変わります

予防接種法施行令の改正により、平成18年4月から、麻しん・風しんの予防接種の対象年齢や接種方法が変わります。

麻しん・風しん両方の接種をまだ終えていない1歳以上のお子さんは、平成18年3月31日(金)までに接種を済ませましょう。

麻しん・風しんを接種しているかの確認は、母子健康手帳の予防接種欄の日付印をご覧ください。



しんた21からの
お知らせ

問い合わせ

健康推進グループ
(しんた21内 ☎0100)

1月の集団予防接種

種類	日時	場所
BCG	1月19日(木) 12時45分～13時15分	しんた21
	1月23日(月) 12時45分～13時15分	婦人センター
	1月23日(月) 14時～14時20分	登別厚生年金病院
対象	方法	
接種当日で6カ月未満児	直接BCGを接種	

【接種上の注意】

受ける前に前回の予防接種からの間隔を必ず確認してください
 通院中の方は接種してよいかを主治医と相談してください
 必ず母子健康手帳を持参してください
 予防接種は無料で受けられます。
 年間日程表は、接種場所やしんた21で配布しています。

問い合わせ
健康推進グループ
 (しんた21内 ☎ 85 0 1 0 0)

『キットで学ぶロボット工作』を開催します
 ～室蘭工業大学 大学開放推進事業～
 市販の工具や材料を使い、工具の使い方からロボットの組み立てまでを行います。
 また、同じ会場で『ロボットサッカーコンテスト』も開催します。
 日時 平成18年1月8日(日) 10時～16時
 場所 室蘭工業大学学生会館第4・第5集会室
 対象 小学校高学年～中学生
 小学生は保護者の同伴が必要。
 定員 10組(申込順)
 1組3人以内。
 参加料 100円程度(傷害保険料)
 申込方法 12月9日(金)から22日(木)までに室蘭工業大学地域連携

推進課に備え付けの申込用紙により、お申し込みください
 問い合わせ 室蘭工業大学地域連携推進課(☎465023)
 『くらしの無料相談会』を開催します
 ～北海道行政書士会 室蘭支部主催～
 相続や遺言、各種契約などで官公署に提出する書類について、北海道行政書士会室蘭支部の行政書士が無料で相談をお受けします。
 日時 12月10日(土)・平成18年1月14日(土) 9時30分～
 場所 鉄南ふれあいセンター
 定員 各10人(申込順)
 申し込み 12月分は12月8日(木)まで、平成18年1月分は12月28日(水)までに電話で市民サービスG(☎851855)

健康相談・診査

申し込み
 問い合わせ
 (しんた21内 ☎ 85 0 1 0 0)



8カ月児健康相談

クラス	対象	受付時間
ひよこ	平成17年5月生まれで第2子目以降のお子さん	10:15 10:30
もぐもぐ	平成17年5月生まれで第1子目のお子さん	12:45 13:00

月日 1月25日(水)(時間は、対象となる家庭に通知します)
 場所 しんた21
 内容 身体計測、栄養相談、育児相談、遊びの紹介
 持ち物 母子健康手帳、バスタオル、替えオムツ
 乳幼児健康相談
 月日 1月25日(水)
 受付時間 10時～10時15分
 場所 しんた21
 対象 育児相談を希望する方
 内容 発育・発達・育児などの相談、栄養相談
 申し込み 事前に電話でお申し込みください

4カ月児健康診査

月日 1月26日(木)(時間は、対象となる家庭に通知します)
 場所 しんた21
 対象 平成17年8月16日～平成17年9月15日生まれのお子さん
 内容 診察、身体計測、栄養相談、育児相談
 持ち物 母子健康手帳、バスタオル、替えオムツ

1歳6カ月児健康診査

月日 1月18日(水)(時間は、対象となる家庭に通知します)
 場所 しんた21
 対象 平成16年6月生まれのお子さん
 内容 診察、歯科検診、身体計測、栄養相談、歯科相談、育児相談、フツ素塗布の予約
 持ち物 母子健康手帳、お子さんの歯ブラシ

3歳児健康診査

月日 1月12日(木)(時間は、対象となる家庭に通知します)
 場所 しんた21
 対象 平成14年12月生まれのお子さん
 内容 診察、歯科検診、尿検査、身体計測、栄養相談、歯科相談、育児相談
 持ち物 母子健康手帳

かると

登別地方高等職業訓練校
平成18年度入校生募集

訓練科目・入学資格など

訓練科目	入学資格	訓練期間	受講料 (一般)年額	受講料 (会員)年額
木造建築科	中学校卒業以上の学力のある方	2年	(1年目) 3万5,000円 (2年目) 2万円	1万円
建築板金科				
建築塗装科				
建築設計科	高校卒業以上の学力のある方	1年	3万5,000円	2万5,000円
経理事務科				
OAシステム科				

会員...登別職業訓練協会の構成員である中小企業事業主に雇用されている方

定員 各科10人(申込順)
申込期限 平成18年3月10日(金)
お問い合わせ 職業訓練法人登別職業訓練協会(☎851450)

登別市文化協会創立40周年記念事業
ベートーベン第九交響曲
『響け! 歓喜の歌 in のぼりべつ』開催

日時 12月11日(日) 開場14時30分、開演15時
場所 市民会館大ホール
内容 ベートーベン献堂式序曲、交響曲第九番二短調(合唱付き)、オーケストラ 北海道交響楽団

(指揮 川越守さん)
合唱 市民、登別市文化協会会員など約200人(合唱指揮 大橋猛さん)
入場料(全席自由) 大人2千500円、高校生以下1千円(未就学児童は無料)
入場券取扱先 市民会館、アーニス、レコード&楽器のオオニシ、エルム楽器室蘭店

お問い合わせ 毎週火・木曜日の10時から16時までに電話で登別市文化協会事務局(☎858886)

スキー教室参加者募集

(登別スキー連盟主催)

コース・講習日・対象など

コース	講習日	対象	定員 (申込順)	受講料
正3日間教室	1月2日(月)~4日(水)	小・中学生	30人	6,000円
		高校生以上	10人	8,000円
土曜pm教室	1月7日(土)~2月18日(土)(土曜日全5回)	小学生以上	15人	8,000円
サンデースキー教室	1月8日(日)~2月19日(日)(日曜日全5回)	小・中学生	10人	8,000円
		高校生以上	10人	1万2,000円

場所 サンライバスキー場
詳しくはお問い合わせください。
お問い合わせ 酒井さん(室蘭市立成徳中学校内☎28488)

申し込み 中の『G』は『グループ』の略です
お問い合わせ

1月の粗大ごみ収集

粗大ごみの収集は、地域ごとに決められた年2回の収集時期に、電話の申し込みにより行います。粗大ごみを出すときは(1回につき5品まで)、1枚160円のごみ処理券を購入の上、1品ごとにごみ処理券を張ってください。

1月の粗大ごみの地区名・収集日・申込期間		
地区名	収集日	申込期間
鷺別町4~6丁目	1月9日(月)~1月14日(土)	12月19日(月)~1月6日(金)
登別東町	1月16日(月)~1月21日(土)	1月4日(水)~1月13日(金)
大和、栄町、若山町	1月23日(月)~1月28日(土)	1月10日(火)~1月20日(金)
新川町	1月30日(月)~2月4日(土)	1月16日(月)~1月27日(金)

このほかの地区の収集日については、『家庭ごみ収集カレンダー』に掲載しています。また、今後の『広報のぼりべつ』でも紹介していきます。

申し込み 申込期間の9時~17時(土・日曜日、祝日、12月31日(土)~1月3日(火)を除く)に電話で収集委託業者(尙登和清掃・☎880200)へお申し込みください

冬のガーデニング講習会に参加しませんか

日時 12月20日(火) 13時30分~15時30分
場所 クリックルセンター市民ギャラリー
対象 市内に居住する方
内容 家庭で楽しむクリスマスツリー作り
講師 小笠原春一さん(楸丸勇小笠原緑化)
定員 15人(申込順)
参加料 2,000円(材料代)
持ち物 軍手、筆記用具
申し込み 12月5日(月)から13日(火)までに電話でお申し込みください



家電リサイクル法・パソコンリサイクル法を守りましょう

最近、使用済みの家電(テレビや洗濯機、冷蔵庫(冷凍庫)、エアコン)、パソコンを分解して、ごみステーションに出している方がいます。

市は回収しませんので、家電リサイクル法・パソコンリサイクル法により、次のとおり処理するようお願いいたします。

- 処理方法
- 家電...買い替える場合などは、販売店に相談してください。また、個人で処理する場合、市内の郵便局でリサイクル券を購入し、指定引き取り場所に持参してください。
 - パソコン...各製造メーカーにお問い合わせください。販売店や収集運搬許可業者に収集運搬を依頼する場合は、料金がかかります。詳しくはクリックルセンターにお問い合わせください。

クリックルセンター
からのお知らせ

申し込み
問い合わせ

環境対策グループ
(クリックルセンター内)
☎29958

文化・スポーツ振興財団からのお知らせ

申し込み・問い合わせ
文化・スポーツ振興財団 (☎88 1 1 1 6)
市民プール (☎85 5 5 8 8)

初心者スキー教室・ 初心者スノーボード教室を開催します

日時・場所・対象・定員・参加料・持ち物

	初心者スキー教室	初心者スノーボード教室
日時	平成18年1月14日(土)・21日(土)・28日(土) 10時～15時	
場所	サンライバスキー場	
対象	市内に居住または通勤する初心者の方で、リフトの乗降ができる方(小学生以上)	市内に居住または通勤する初心者の方(小学生以上)
定員	各20人(申込順)	
参加料	各2,000円(傷害保険料を含む)	
持ち物	スキー、ストック、ブーツ、ウェア、手袋、ゴーグル、帽子、昼食など	スノーボード、ブーツ、ウェア、グローブ、ゴーグル、帽子、昼食など

リフト代は自己負担となります。

申し込み 12月20日(火)～1月11日(水)(12月31日(土)～1月5日(木)を除く)の10時から17時までに電話で文化・スポーツ振興財団

『あきずにシェイプアップ!!』に参加しませんか

『さまざまな運動で飽きずに代謝アップ!』『体を動かして、ストレス発散!』飽きっぽくて運動の続かない方、体力アップ、運動不足を改善したい方、ぜひ参加してみませんか。

日時 平成18年1月から3月までの毎週金曜日

19時30分～20時30分(初回授業1月6日(金))

場所 市民プール会議室(プールは利用しません)

対象 高校生以上の方

内容 初級エアロビクス・筋トレ・グッズ筋トレ・有酸素運動&筋トレ

定員 20人(申込順)

参加料 月額2,000円(初回授業日に持参)

別途入館料がかかります。

持ち物 運動着(動きやすい服装)、室内用運動靴(外靴として使用していた物を除く)、タオル、飲み物(飲料水やスポーツドリンクなど)

申込方法 12月9日(金)から市民プール受付カウンターで直接お申し込みください

電話による受け付けは行いません。また、必ず参加者本人が直接お申し込みください。

広報のぼりべつが特選を受賞

～第52回北海道広報コンクール～

国や道、市町村などが発行する広報紙や広報写真の技術向上を図る『第52回北海道広報コンクール』(社)北海道広報協会、北海道など主催)が行われ、『広報のぼりべつ』が広報写真・一枚写真市町村の部で最優秀賞に当たる特選に選ばれました。



応募総数28点の中から選ばれた作品は、2月に登別温泉町で行われた『第34回登別温泉湯まつり』を締めくくると『源泉湯かけ合戦』の一コマで、3月号の表紙に使われた写真。氷点下の寒さの中、紅白に分かれた下帯姿の若者たちが豪快に湯を掛け合う様子を捉えたもので、「湯しびきが効果的に表現され、躍動感あふれる写真。まつりの熱気が伝わってきます」と審査員から講評が寄せられました。

なお、この作品は、来年行われる全国広報コンクールに北海道代表作品として出品されます。

問い合わせ

情報推進グループ(☎85 6 5 8 6)

ぬか家の味自慢

第29回つけものフェスティバル

各家庭自慢の『おふくろの味』が勢ぞろいする登別の冬の風物詩『つけものフェスティバル』(市、同実行委員会共催)に、あなたの自慢の一品を出品しませんか。



日時 平成18年1月11日(水) 10時45分～14時

場所 市民会館中ホール

内容 つけものコンクール、漬物の試食、地場産品の販売など

コンクール出品作品の募集

部門 かす漬け、かすみそ漬け、魚漬け、ぬか漬け、玄米漬け、アイデア漬け(材料、漬け方などのコメントを添えて提出)

出品の受付 平成18年1月11日(水)10時までに、出品される方本人が直接会場に持参してください

コンクール審査員の募集

定員 各部門1人(申込順)

申し込み 12月9日(金)までに電話でお申し込みください

申し込み・問い合わせ

社会教育グループ(☎88 1 1 2 9)

かると

大東流合気柔術幸道会
登別支部会員募集

健康増進のため、合気柔術や護
身術を学んでみませんか。

活動日時 毎週火・木曜日
時30分～21時、毎週日曜日
時～12時

活動場所 登別東青少年会館
会費など、詳しくはお問い合わせ
ください。

問い合わせ 松本さん
(☎832012)

子育てサークル
『たんぽぽのよう』に
会員募集

子どもの年齢 1歳～就園前
活動日時 第2・第4木曜日
10時～12時

活動場所 富士児童館、西陵中
学校

会費 年額2千円
問い合わせ 絹川さん
(☎857730)

『あつたかサロン』
クリスマスチャリティー』を
開催します

日時 12月4日(日) 10時～15時
場所 NHK室蘭放送局プラザ
μ
内容 チャリティーステージ、

手作りシヨップ、ミニギャラリ
ー、お楽しみプレゼント抽選会
など

入場料 無料
問い合わせ あつたかサロン事
務局(NHK室蘭放送局内)☎22
7271)

パソコン講座の受講生を
募集しています

～NPO法人くるくるネット主催～
講座・時間・内容

講座	時間	内容
はじめての エクセル	毎週火・金・ 土曜日 15時15分～ 17時15分、 17時30分～ 19時30分	マウスの使い方、簡単な表作成
		関数入門(1)
		関数入門(2)
		関数応用
はじめての ワード	毎週火・金・ 土曜日 13時～15時、 17時30分～ 19時30分	グラフの作成
		マウスの使い方、簡単な文章作成
		文章の整形
		表の作成
		いろいろな文章作成
		いろいろな文章作成(応用)

場所 地域情報センター『Pi
』(アニス2階)

定員 各回6人(申込順)
受講料 各回2千円、教材費
200円(当日持参)

申し込み 電話、ファクスでN
PO法人くるくるネット(☎・
FAX)232101または☎090・81
69・2514)

消防本部からのお知らせ

年末年始の火災予防

12月15日(木)から平成18年1月10日(火)まで、年末年
始特別警戒を実施します。

年末年始は慌ただしく、火に対する注意が薄れる
ため、火災が多く発生する時季です。

日ごろから、一人ひとりが火に対する正しい取り
扱いを身に付け、家庭から火災を出さないように次
のことに注意しましょう。

コンロのそばを離れるときは必ず火を消す。
石油ストーブは、完全に火が消えてから給油する。

ストーブに燃えやすいものを近づけない。
ライターやマッチはしっかりと管理し、子どもの
目に触れない場所に置く。

電気器具のタコ足配線はしない。
コンセントやプラグは定期的に清掃する。

家の周りには常に整理整頓し、燃えやすいものを置
かない。

物置や車庫などは施錠する。
寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。

外出や就寝するときは、必ず戸締まりや火の元を
確かめる。

平成17年度消防設備士講習を行います

月日 平成18年1月25日(水)

講習種類 消火設備、警報設備

場所 室蘭市市民会館(室蘭市輪西町2丁目5-
1)

申請書類申請先 12月15日(木)までに消防本部、消
防署、各消防支署

平成17年度消防設備士試験を行います

月日 平成18年2月12日(日)

試験種類 甲種(第1～5類)、乙種(第1～7
類)

試験地 苫小牧市

願書受付期間 12月7日(水)～
15日(木)

願書請求先 消防本部、消防
署、各消防支署



問い合わせ

消防本部総務グループ(☎859611)

『申し込み』中の『G』は『グループ』の略です
『問い合わせ』

情報あら

グリーンデータバンク

問い合わせ / 土木公園G (☎85 4 1 1 5)

家庭で育てられなくなった庭木などを登録し、欲しい方に無料であっせんする制度です。

樹木を提供していただける方やあっせんを希望する方は、電話でお申し込みください。

また、グリーンデータバンクのご利用は市内に居住する方に限ります。

なお、樹木などの掘り起こしや引き取り、運搬は、受け取りを希望する方に行っていただきます。

詳しくはお問い合わせください。

ゆずります

番号	名称	高さ	葉張	本数
1	ツツジ	約0.6m	約0.8m	3本
2	シャクナゲ	約1.5m	約0.8m	1本
3	ポタン	約1.0m	約0.7m	1本

場所
地域情報センター
P1

日時	内容	受講料
12月5日(月) 13時~15時	マウス、キーボードの使い方	各2,000円
12月12日(月) 13時~15時	文字入力、簡単な文章作成	
12月14日(水) 13時~15時	インターネットの仕組み、ホームページの閲覧	
12月19日(月) 13時~15時	電子メールの仕組み(送受信)	無料
第1・第3水曜日 13時~15時	パソコン相談会	

パソコン講習会を
開催します
NPO法人シニアネットいぶり主催
日時・内容・受講料

参加料 無料
問い合わせ 工藤さん
(☎45 2 7 2 6)

「パソコンで遊ぼう2005」
Vol.2 を開催します
NPO法人シニアネットいぶり主催
日時 12月8日(木) 11時~17時
場所 地域情報センターP1
P1 (アリス2階)
内容 パソコン操作&相談コーナー、パソコン講習コーナー、デジカメ画像編集・相談コーナー、音楽製作・実演コーナー、パソコンボランティアアプラザコーナーなど

P1 (アリス2階)
定員 各6人(申込順)
申し込み 工藤さん
(☎45 2 7 2 6)

自衛官募集案内

応募資格は採用時の年齢

募集種目	応募資格	受付期間	試験日	採用時期
2等陸海空士	18歳以上27歳未満の男性の方	12月5日(月)まで 平成18年1月下旬	12月9日(金)・10日(土) 平成18年2月上旬	平成18年3月下旬~4月上旬
貸費学生	大学理・工学部2年~大学院生で26歳未満(大学院生は28歳未満)の方	平成18年1月19日(木)まで	平成18年2月5日(日)	大学卒業(大学院修了)後
自衛隊生徒	中学校を卒業した(見込みを含む)17歳未満の男性の方	平成18年1月10日(火)まで	1次 平成18年1月14日(土) 2次 1月27日(金)~30日(月)	平成18年4月上旬

自衛官募集に関する相談先(自衛官募集相談員)

氏名・住所・電話番号	氏名・住所・電話番号
えびな しょうざぶろう 海老名 庄三郎(新生町4丁目5-1・☎86 5 0 1 4)	さとう かつあき 佐藤 勝明(桜木町4丁目7-13・☎85 6 1 1 4)
やまぐち のぼる 山口 登(中央町2丁目4-1・☎85 2 9 3 2)	いくた のぼる 生田 昇(美園町3丁目48-1・☎86 2 6 8 3)
むらた まさみ 村田 政美(常盤町3丁目9-6・☎85 2 3 1 6)	しおたに のりこ 塩谷 則子(若草町3丁目2-7・☎86 4 8 2 5)
はやま しげる 羽山 茂(中央町7丁目24-1・☎85 8 8 4 6)	やまぐち けんじ 山口 賢治(青葉町34-9・登別中央病院内☎85 1000)

問い合わせや資料・
志願票などの請求先

〒050-0083 室蘭市東町2丁目21-12 石井ビル1階
自衛隊札幌地方連絡部室蘭募集事務所(☎44 9 5 3 3)
〒059-8701 登別市中央町6丁目11
登別市総務グループ(☎85 1 1 3 0)

かると

2005

2006

年末年始の業務案内

ごみ収集

ごみ収集は12月31日(土)から1月3日(火)まで休みます。

1月4日(水)に『燃やせるごみ』の市内一斉収集を行います。必ず8時までにごみステーションに出してください。

1月5日(木)からは平常通り、各地域ごとの収集を行います。

休み期間中はごみステーションにごみを出さないでください。

問い合わせ 環境対策G

(クリンクルセンター内 ☎85 2 9 5 8)

自己搬入ごみの受け入れ

クリンクルセンターは、市内の家庭や事業所などから出た『燃やせるごみ』や『燃やせないごみ』などの持ち込みを受け入れています。

必ず透明または半透明の袋に分別区分ごとに分別して搬入してください。分別されていない場合、受け入れできないことがあります。

受入時間 9時～16時

手数料 100kgまで500円(100kgを超える場合は、10kgごとに50円を加算)

問い合わせ 環境対策G

(クリンクルセンター内 ☎85 2 9 5 8)

し尿収集

し尿収集は、12月31日(土)から1月5日(木)まで休みます。

新年は、1月6日(金)から平常通り収集します。

年内に収集の必要な方は、12月20日(火)までに(株)東洋興業にお申し込みください。

申し込み・問い合わせ (株)東洋興業

(☎85 2 9 3 5)

■ は休み。

業務・問い合わせ	12/29 (木)	30 (金)	31 (土)	1/1 ~3 (日)-(火)	4 (水)	5 (木)	6 (金)
市の一般・窓口・各支所 (☎85 2111)							
地域情報センター『PiP』 (☎81 2182)							
クリンクルセンター研修室・市民見学コース 市民ギャラリー・再生品展示室 (☎85 2958)							
市民プール (☎85 5588)							
ふおれすと鉱山 (☎85 2569)							
市民会館 (☎88 1139)							
総合体育館 (☎85 5552)							
鷲別公民館 (☎86 8823)							
登別公民館 (登別支所 ☎83 1131)							
登別温泉公民館 (登別温泉支所 ☎84 2068)							
登別温泉ふれあいセンター (登別温泉支所 ☎84 2068)	年末年始は平常通り						
各青少年会館 (社会教育グループ ☎88 1129)							
市立図書館 (☎85 4324)							
郷土資料館 (☎88 1339)							
婦人センター (☎83 3511)							
労働福祉センター (☎85 5044)							
若草つどいセンター (☎86 1205)							
老人福祉センター (☎88 1303)							
鉄南ふれあいセンター (☎85 2966)							
各保育所・児童館 (子育てグループ ☎85 5634)							
富岸児童クラブ (☎87 0034)							
常盤児童クラブ (☎85 1840)							
若草児童クラブ (☎86 0011)							
中央子育て支援センター (☎81 3715)							
登別子育て支援センター (☎80 2772)							
のぞみ園 (☎85 7721)							
しんた21各室貸館 (☎85 0100)		17時~					
在宅介護支援センターしんた (☎88 2221)							
在宅介護支援センターふれあい登別 (☎83 0511)							
在宅介護支援センターゆのか (☎84 2165)							
在宅介護支援センター丸いあい (☎82 5005)							

『G』は『グループ』の略です

ちよつと ひびくと

楽しかったこと、悲しかったこと、市への疑問や意見・要望などを情報推進グループへ電話やはがき、封書、ファクス、電子メールでお寄せください。なお、個人や団体への中傷、営利を目的としたお話はご遠慮ください。

情報推進グループ
 ☎(85)6586
 FAX(85)1108
 Eメール:pr@city.noboribetsu.hokkaido.jp

中央町6-11

火災に気を つけましょう

冬は、ストーブなどの暖房機器で火を使う機会が増えるため、火災が多く発生する季節です。

住宅火災では、天ぷら鍋の火を消し忘れ、別の家事をしていたり、電話で話し込んでしまったりなど、うっかりミスからの火災が増えていくといわれています。

つい先日、わたしも洗濯物を乾かそうと、ストーブの上につるしたまま放置してしまい、危うく火災になりかけたことがあります。すべてを灰にしてしまう火災。「急いでいたから」「大丈夫だと思っただけ」などと後で言っても、取り返しがつきません。

わたしもそうですが、「よく忘れる」という方もたくさんいることでしょう。今、何に注意しなければならぬのかをメモ用紙に書くことなども、うっかりミスの防止につながるのではないのでしょうか。

わが家でも火災を出さないように家族で話し合ってみようと思

ます。

温泉だけではない 登別の魅力

(美園町・女性)

10月のある日、休暇を利用して東京から遊びにきた友人と一緒に、登別温泉に宿泊しました。

翌日は、地獄谷や大湯沼などを散策しましたが、鮮やかに色づいた紅葉に、気が付くと、わたしも友人も足を止めて見入っていました。

また、大湯沼川探勝歩道沿いでは、多くの観光客と一緒に、自然の足湯を体験することができ、友人も大変満足した様子。紅葉や足湯といった自然からのプレゼントを思い出し、友人は帰路につきま

した。わたしは、登別に住んで約10年になりますが、こんな身近に豊かな自然に恵まれた場所があることを初めて知りました。

温泉だけではない、登別の魅力をもっと多くの皆さんに知ってほしいと思います、お手紙しました。

(一市民)

不用品ダイヤル市

お申し込み・お問い合わせは
登別消費者協会 ☎85 8 3 0 7

火～金曜日(祝日、12月28日(水)～1月5日(木)を除く) 10:00～16:00
お申し込みは、市内に居住する方が対象です。

ゆずります(売ります)

レース用スキー板(190\$) 電子オルガン 五月人形 スチールホイール(15\$) 電動三輪車 スチール机(事務用・学習用) 子ども用自転車(5・6年生、3～5歳・補助輪あり) 編み機 マウンテンバイク(24\$) 業務用冷蔵庫(983\$) オルガン ポット式石油ストーブ 印刷機マスター 印刷機インク 食器棚 ひな人形 ビデオカメラ フィギュアスケート(22\$・23\$) ゴルフ道具(アイアン7本) ワープロ シングルベッド(電動2段式) スキャナー パソコン(デスクトップ、カラープリンター付き) 反射ストーブ(6～10帖) 書道用具一式 電気ストーブ(小型・中型) 火鉢(信楽焼き) ランニングマシン カーナビ 石油小型給湯機(煙突付き) スチール製本棚(185×80×25\$) 文庫本用木製本棚(180×90×17\$) もちつき器 スキー靴(25.5\$) 夏タイヤ(185-60-14ホイール付き)

ゆずってください(買います)

電動三輪車 作業用回転いす 自転車用補助いす 鋳物まきストーブ まきストーブ 精米機(家庭用) 足踏みミシン 電動ミシン ノートパソコン 夏タイヤ(175-13) ワープロ 電子ピアノ 自転車(26\$) 車いす(折りたたみ式) カラオケ道具一式 大正琴 リール 人台(一般サイズ) 大型水槽(奥行60\$) 味噌羽根付もちつき器

ほん

市立図書館
☎85 4 3 2 4

遅咲きのひと



足立 則夫 著
急がず、あせらず、自分らしく。クライマックスはこれからだ。70歳代の女優、ノーベル賞学者、50歳代を過ぎて文学博士になった元専業主婦など、大器晩成型の人生を描くルポルタージュ。



香田証生さんはなぜ殺されたのか
下川 裕治 著
2004年10月、ひとりの日本人青年がイラクで殺害された。彼はなぜ殺されたのか? 自業自得の死だったのか? 自己責任と切り捨てていいのか? 『自分探し』フリーターの足跡をたどりながら、その胸の内を探る。

このほかに新しく入った本

淳 それから 土師 守・本田信一郎 著
わたしの味 栗原はるみ 著
『生きる』という権利 安田 好弘 著
話を聞く技術! 永江 朗 著
山内一豊のすべて 小和田哲男 著
自宅で迎える幸せな最期 押川真喜子 著
労働相談裏現場リポート 金子 雅臣 著
山猿流自給自足 青木 慧 著

図書館では、毎月購入している本の全リストを差し上げています。ご利用ください。

平成18年 登別市成人祭



日 時 平成18年 1月 8日(日)
13時～(受付12時～)

場 所 登別マリンパークニクス
(イルカショープール)

対 象 者 登別市に住民登録をしている昭和60年4月2日から昭和61年4月1日までに生まれた方(ほかの市町村に転出している方で出席を希望する方はご連絡ください)

対象者には後日、案内状をお送りします。成人の日は1月第2月曜日ですが、登別市では前日の日曜日に実施しています。お間違えのないようご注意ください。

問い合わせ

社会教育グループ
(☎88 1154)

と な り ま ち ・ ホ ッ ト ラ ン

白老町

『元気まちプラスin2005』にお越しく下さい

町内の中・高校生、一般の全吹奏楽団体とミュージックベルの華麗でダイナミックな演奏をお楽しみください。

日時 12月23日(金) 開演14時

場所 白老コミュニティセンター
演奏 白老中学校・萩野中学校・竹浦中学校・白老東高校・北海道栄高校各吹奏楽部、白老吹奏楽団、ミュージックベルズクラブミルキーウェイ

入場料 無料

問い合わせ 本波さん(虎杖中学校内☎0144 872224)

室蘭市

室蘭市青少年科学館プラネタリウム
クリスマス特別投影

クリスマスツリーやサンタクロースなどの投影を音楽と連動した演出で行います。

日時 12月23日(金)～25日(日) 13時30分～、15時～

場所 室蘭市青少年科学館プラネタリウム

プラネタリウム入場料 高校生以上140円、小・中学生40円(幼児は無料)
高校生以上70歳未満の方は、別途入館料300円がかかります。

問い合わせ 室蘭市青少年科学館(☎221058)

伊達市

『長流川・有珠冬鳥探鳥会』に参加しませんか

今年も越冬のため、白鳥、マガン、オジロワシなど多くの鳥たちがやってきました。冬は多くの鳥が観察できる季節です。寒さに負けず、野鳥観察に参加しませんか。

日時 12月10日(土) 8時45分～15時
集合場所 だて歴史の杜カルチャーセンター駐車場

持ち物 昼食、双眼鏡(貸し出しもあります)、筆記用具

車同乗希望者は500円がかかります。
申し込み 12月8日(木)までに電話で篠原さん(☎0142 233169)



人のうごき(平成17年10月末日現在) / 人口54,009(+38) 世帯24,624(+31) ()は前月比 この広報紙は再生紙を使用しています。

発行・編集 / 登別市総務部情報推進グループ 〒059-8701 北海道登別市中央町6-11 ☎0143⑤2111 FAX 0143⑤1108
ホームページ: <http://www.city.noboribetsu.hokkaido.jp> Eメール: pr@city.noboribetsu.hokkaido.jp